

令和6年度 事業年報

国民健康保険 金ヶ崎 診療所
国民健康保険 金ヶ崎歯科診療所
金ヶ崎町訪問看護ステーション

岩手県金ヶ崎町保健福祉センター

巻 頭 言

金ヶ崎診療所長 阿部 俊和

令和6年度年報発刊にあたり一言申し上げます。

令和5年5月にCOVID-19が感染症法上2類から5類に引き下げられ、社会生活においても以前の日常に近づいてきております。コロナ禍においては対面での会議はWEBでの会議にとって代わり、各種の集会や宴会も自粛せざるを得ない状態でしたが、令和6年度においては対面、集合形式での会議、集会が段階的に増えてきました。やはり人間にとっては直接顔を合わせての対話が五感を刺激しとても大事なことであると再認識致しました。

現状においてもCOVID-19は終息しておらず年間の死亡者数は3万人を超えておりますが、総感染患者数や重症化の度合いは減少しているようです。コロナ禍においては手指消毒、マスクの着用、3密の回避などの徹底した感染症対策のためインフルエンザ等の感染症は激減しておりましたが、コロナ禍が明けた令和6年度はインフルエンザ患者が急増、またマイコプラズマ肺炎や百日咳等が例年に見られないほど増加いたしました。改めて感染対策の重要性を感じますが、社会生活とうまく折り合いをつけることが肝要かと思われまます。

当診療所においても感染対策の面から発熱外来はコロナ禍と同様に午後のドライブスルー形式で継続致しましたが、以前より発熱患者数が減少しておりましたので午後の一般外来も発熱患者と動線を分けた上で行いました。

診療科目においては昨年度と同様内科、外科、泌尿器科、歯科の常勤医による外来診療と呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、婦人科、整形外科、眼科の週1回の診療も継続することができました。当診療所を受診する患者の年齢層は高く、他の市町村等への通院が困難な方が多い現状です。そのような患者においては町内で診療を受けることができるということは大きな意味を持つと思います。今後とも現在の診療科を維持し町民の皆様が安心して医療を受けられる体制を堅持していきたいと思ひます。

病床のない当町においては在宅医療が重要であると考えております。従来に引き続き訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護で対応いたしますが、周辺の医療機関との関係性も密に保ち入院が必要な患者には遅滞なく紹介できる体制も強化していきます。

町民の皆様が安心して生活できる医療環境を提供したいと思ひますので今後ともよろしくお願ひいたします。

金ヶ崎診療所の理念と基本方針

【理念】

町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。

【基本方針】

1. 患者様の訴えを真摯に伺い診療に当たります。
2. 迅速で的確な医療を提供します。
3. 患者様中心の全人的医療を目指します。
4. 訪問診療の充実を図ります。
5. 近隣の医療機関と連携を密にすることにより紹介、入院を容易にします。
6. 出前講演や広報等を通じて地域の予防医学に貢献します。

金ヶ崎保健福祉センター事業目的

1. 金ヶ崎診療所

- 1) 金ヶ崎町は人口約 15,000 人で北上市、奥州市に囲まれており、周辺には県立中部病院、県立胆沢病院、県立江刺病院、北上済生会病院、総合水沢病院等の総合病院が林立しております。金ヶ崎診療所は無床診療所であり、一般外来診療と訪問診療、講演等の疾病啓発活動を中心に事業を行っています。当診療所の役割は地域医療であり、患者様を総合的に診、高度な医療が必要な患者や、入院が必要な患者を上述の病院にスムーズに紹介し入院できる環境を作る事にあります。
- 2) 診療所の機能
 - 一般総合内科外来診療
 - 消化器科・外科・肛門外科・神経内科・泌尿器科・婦人科・眼科・整形外科・循環器内科・呼吸器内科の専門外来
 - 禁煙外来
 - 訪問診療
- 3) 各種ワクチン接種（新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン、その他小児を含む）
- 4) 発熱外来（新型コロナ、インフルエンザ対応）

2. 金ヶ崎歯科診療所

- 1) 一般歯科
- 2) 小児歯科
- 3) 歯科検診

3. 訪問看護ステーション

- 1) 訪問看護（24 時間対応）
- 2) 訪問注射
- 3) 訪問診療と合同で緩和医療、看取り

4. 保健福祉センター

- 1) 福祉係
- 2) 医療係
- 3) 元気 100 歳健康支援係
- 4) 介護保険係
- 5) 地域包括支援センター

1. 金ヶ崎診療所施設の概況

(1) 診療所施設等の状況

- 1) 標榜診療科 内科、外科、泌尿器科、肛門外科、歯科
曜日指定診療科 神経内科、呼吸器内科、循環器内科、整形外科、婦人科、眼科
- 2) 一般外来診療
- 3) 主な医療機器の整備状況

【放射線部門】

全身用コンピューター撮影装置 (MDCT16 列)、一般撮影装置、診断用 X 線テレビ装置、骨密度測定装置 (DEXA)

【検査部門】

全自動血液分析装置、自動血球計数装置、ABI (CAVI)、心電計、ホルター心電計

【その他】

経鼻上部消化管電子内視鏡、経口上部消化管電子内視鏡、
気管支ファイバー内視鏡、超音波診断装置 (心エコー、頸動脈エコー可)
泌尿器科膀胱電子内視鏡セット、尿流測定装置、簡易残尿測定装置

(2) 診療圏人口等の状況

- 1) 診療圏人口 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

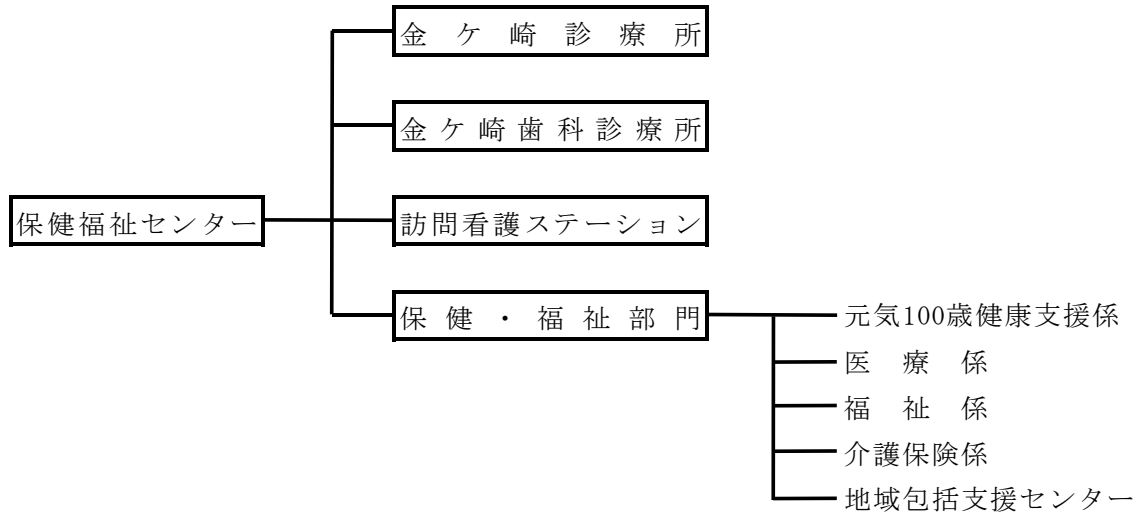
122,255 人

金ヶ崎町 15,085 人、奥州市 107,170 人

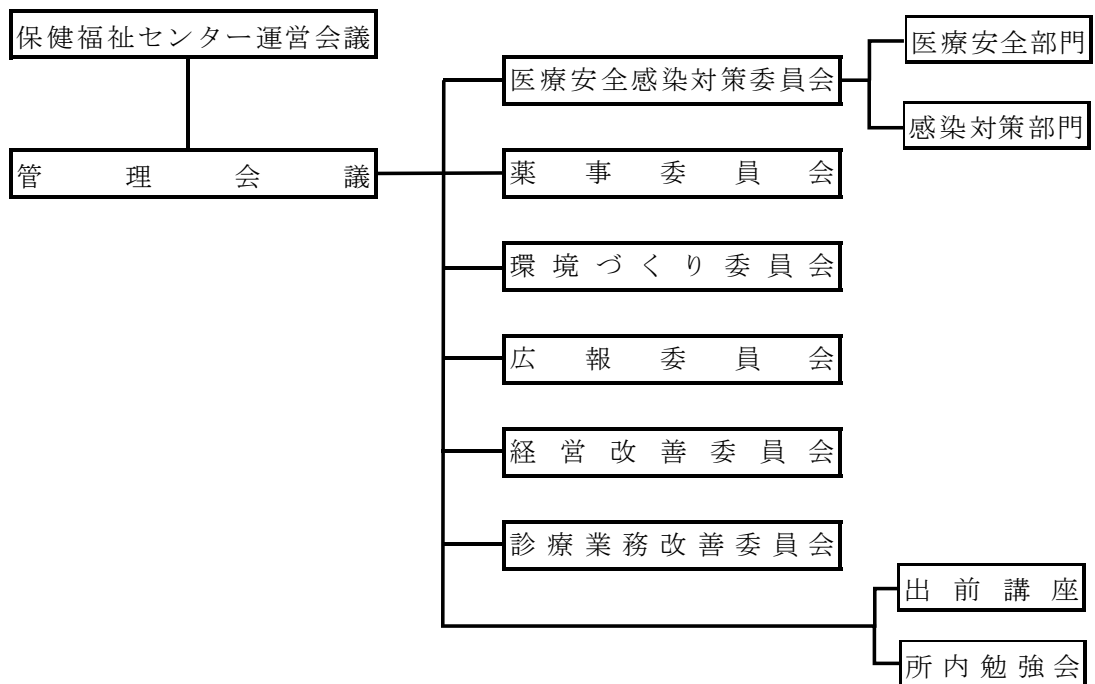
- 2) 病院及び診療所の状況 (地域医療情報システムより)

金ヶ崎町	一般診療所	6	病床数	0 床
	歯科診療所	5		
奥州市	病院数	9	病床数	1,501 床
	一般診療所	64	病床数	97 床
	歯科診療所	48		

(3) 診療所組織図



(4) 委員会組織図



(5) 診療体制及び職員の状況

1) 医師数の状況 (令和7年3月31日現在)

(単位:人)

診療科	常勤	診療応援	診療応援の内訳
内科	2		
神経内科		1	毎週1回、木曜日午後
呼吸器内科		1	毎週1回、月曜日午前
循環器内科		1	毎週1回、木曜日午前
外科	1		
整形外科		1	毎週1回、木曜日午後
泌尿器科	(1)		
肛門外科	(1)		
婦人科		2	隔週、木曜日午前・金曜午前
眼科		1	毎週1回、月曜日午後
歯科	1		
計	4	7	

※ () は兼任

2) 職員数の状況 (令和7年3月31日現在)

(単位:人)

診療科	常勤	会計年度任用職員	計	備考
医師	3		3	
歯科医師	1		1	
看護師	10	1	11	
薬剤師	1	1	2	
検査技師	1	1	2	
放射線技師	1	1	2	
歯科衛生士	1		1	
事務職員	3	1	4	
計	20	6	26	

※診療所・歯科診療所・訪問看護ステーション職員の合計

(6) 事業運営状況

国民健康保険診療施設特別会計

国民健康保険診療施設特別会計の歳入総額は、医科勘定 403,962 千円と歯科勘定 46,943 千円を合わせた 450,905 千円で、歳出総額は医科勘定 387,101 千円と歯科勘定 42,662 千円を合わせた 429,763 千円となり、収支差引残額は 21,141 千円である。

※歳入総額と歳出総額の差引額が一致しない場合は端数整理によるものである。

【医科勘定】

令和 6 年度は、医師 3 人の診療体制であった。

診療応援では、婦人科は岩手医科大学及び北上済生会病院からの応援をいただき月 4 回（担当医師によって木曜日午前または金曜日午前）、神経内科も岩手医科大学からの応援をいただき火曜日午後診療を行った。眼科は毎週月曜日午後診療を行った。整形外科は北上済生会病院からの応援をいただき、毎週木曜日午後診療を行った。循環器内科は毎週木曜日午前診療を行った。呼吸器内科は毎週月曜日午前診療を行った。

昨年同様に、早朝診療・訪問診療・土曜日診療の実施、検診等の積極的受入れ、企業の産業医としての医師派遣、地域医療連携のため県立病院等へ医師を派遣する診療応援を行うことで、利用者サービスの充実を図った。

インフルエンザ予防のため町内企業の従業員へのワクチン接種を実施した。

また、令和 2 年度に開始した発熱外来での新型コロナウイルス感染症等に係る検査を引き続き実施した。

1. 診療所の状況

(1) 診療科目（令和 7 年 3 月 31 日現在）

内科、泌尿器科、外科、肛門外科、婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科

(2) 職員数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

職種	区分		
	正 規	非常勤	計
医 師	3	0	3
看 護 師	7	1	8
薬 剤 師	1	1	2
放射線技師	1	1	2
検査技師	1	1	2
事務職員	3	1	4
計	16	5	21

2. 業務の概要

(1) 年延べ外来患者数、1日平均患者数、1人平均診療単価

(単位：人・円)

区分 診療科	年延べ外来患者数		1日平均患者数		1人平均診療単価	
	R6	R5	R6 (土曜日除く)	R5 (土曜日除く)	R6	R5
内科	19,834	18,962	77.8 (80.2)	74.7 (77.2)	7,209	7,957
神経内科	166	198	3.5	4.0	3,640	4,361
婦人科	260	271	5.5	6.5	4,646	4,400
眼科	426	446	10.1	9.9	4,016	4,059
整形外科	818	755	16.4	15.4	6,888	4,789
循環器内科	618	703	11.9	7.7	8,072	8,200
呼吸器内科	239	232	5.2	5.4	9,779	8,364
計	22,361	21,567				

※診療日数は令和6年度内科255日（うち土曜日診療23回）、神経内科48日、婦人科47日、眼科42日、整形外科50日、循環器内科52日、呼吸器内科46日。令和5年度内科254日（うち土曜日診療24回）、神経内科50日、婦人科42日、眼科45日、整形外科49日、循環器内科91日、呼吸器内科43日。なお、循環器内科の診療日数については令和6年度より集計方法を変更。

※土曜日診療の開設日数は1回あたり0.5日換算。

(2) 職員1人1日当たり患者数

(単位：人・%)

区分 職種	R6	R5	増減	増減率
医師	29.2	28.3	0.9	3.2
看護師	11.0	12.1	△1.1	△9.1
薬剤師	43.8	42.5	1.3	3.1
放射線技師	43.8	-	-	-
検査技師	43.8	-	-	-
事務職員	21.9	21.2	0.7	3.3

※診療日数は、令和6年度内科255日、令和5年度内科254日（土曜診療日含む）。

(3) 検査、X線、調剤件数

(単位：件・%)

区	分	R6	R5	増減	増減率
内視鏡検査	年延べ検査件数	503	505	△2	△0.4
生化学的検査等	年延べ検査件数	77,928	78,244	△316	△0.4
X線	年延べX線件数	3,015	3,030	△15	△0.5
C T	年延べC T件数	451	479	△28	△5.8
調剤	年延べ調剤件数	527	565	△38	△6.7

(4) 在宅訪問活動

(単位：人・日・%)

区	分	R6	R5	増減	増減率
訪問診療	実人数	48	65	△17	△26.2
	延べ人数	376	422	△46	△10.9
	日数	101	94	7	7.4

(5) 介護保険主治医意見書作成

(単位：件・円・%)

区分	R6	R5	増減	増減率
件数	176	169	7	4.1
金額	844,800	812,900	31,900	3.9

(6) 保健活動状況（受診者数）

(単位：人)

項目		乳幼児	幼稚園児	小学生	中・高校生	一般	合計
検診	骨粗鬆症検診					257	257
	幼稚園児内科健診		104				104
	児童定期・就学時健診			168			168
予防接種	二種混合			15			15
	四種混合	24					24
	麻しん・風しん混合	12	9			3	24
	インフルエンザ	※115			※428		543
	高齢者インフルエンザ					1,232	1,232
	ヒブ	14					14
	日本脳炎	8	13	8	21	9	59
	小児用肺炎球菌	45					45
	高齢者肺炎球菌					26	26
	水痘	22					22
	おたふく	6				8	14
	B型肝炎	30				3	33
	ロタウイルス	17					17
	子宮頸がんワクチン				198		198
	新型コロナウイルスワクチン（定期接種）					985	985
新型コロナウイルスワクチン（任意接種）					5	5	
その他					12	12	
計		178	22	23	219	2,283	3,268

※インフルエンザの予防接種については、12歳以下か13歳以上で集計しているため、計には含んでいない。

(7) 診療所における健康管理事業（補助事業）

- ①総合相談窓口 327件
- ②健康増進運動教室 48回 参加者 1,669人
- ③糖尿病教室 2回
- ④地域における出前講座 2回
- ⑤広報委員会
保健福祉センターだより 6回発行（全戸配布）
- ⑥所内勉強会 4回

(8) 受託状況

- ①産業医契約 4事業所
- ②従業員検診等 37事業所 931人
- ③町民集団検診（骨粗鬆症） 257人

(9) 診療応援の状況

- ①岩手県立千厩病院 95回
- ②奥州市総合水沢病院 47回

(10) 早朝診療の実施

学生や出勤前の方等を対象として、午前8時から診療開始。
延べ275人利用（令和5年度 235人）

(11) 土曜日診療の実施

第2・第4土曜日の午前8時30分～11時30分まで受付し、診療を実施。
23回実施、延べ305人利用、1回平均13.3人（令和5年度24回実施、延べ276人利用、1回平均11.5人）

(12) 臨床研修医及び実習生の受入れ

①岩手県立胆沢病院臨床研修病院群の協力型臨床研修施設として、研修医1人を受け入れた。

②医師教育のための実習施設として、医学部実習生を受け入れた。

- ・東北医科薬科大学医学部 第6学年 1人
- ・岩手医科大学医学部 第5学年 3人
- ・ハンガリー国立ペーチ大学 第6学年 1人

(13) 事業分析

(単位：円・%)

項 目		R6	R5	増 減	増 減 率
患者1人当たり 医療材料費	薬 品	1,542	862	680	78.9
	その他医療材料	589	599	△10	△1.7
計		2,131	1,461	670	45.9
診療収入に対する職員給与費の割合		78.8	79.0	△0.2	△0.3
診療収入に対する医療材料費の割合		25.9	17.0	8.9	52.4

3. 決算の状況

(1) 収支状況

医科の歳入総額は、403,962千円、歳出総額は387,101千円となり、収支差引残額は16,861千円となった。

※歳入総額と歳出総額の差引額が一致しない場合は端数整理によるものである。

(2) 歳入

医科の歳入は、診療収入が184,064千円で45.6%を占めている。また、予防接種が主な自由診療収入は、31,979千円で7.9%を占めている。

(3) 歳出

歳出は、人件費を含む一般管理費が254,641千円で65.8%、医薬品材料費は48,631千円で12.6%を占めている。

歳 入

(単位：円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
診療収入	184,063,762	184,968,127	△904,365	△0.5
外来収入	150,424,224	158,899,038	△8,474,814	△5.3
国民健康保険診療報酬収入	21,044,111	22,754,512	△1,710,401	△7.5
社会保険診療報酬収入	25,786,007	28,266,305	△2,480,298	△8.8
後期高齢者医療保険診療収入	77,331,166	80,396,293	△3,065,127	△3.8
一部負担金収入	26,262,940	27,481,928	△1,218,988	△4.4
その他診療収入	33,639,538	26,069,089	7,570,449	29.0
健康診断料	1,422,817	1,366,110	56,707	4.2
自由診療収入	31,979,045	24,463,317	7,515,728	30.7
検査料	219,692	237,336	△17,644	△7.4
その他収入	17,984	2,326	15,658	673.2

歳入(続き)

(単位:円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
使用料及び手数料	1,349,350	1,334,046	15,304	1.1
使用料	49,560	44,376	5,184	11.7
手数料	1,299,790	1,289,670	10,120	0.8
文書料	1,284,830	1,273,830	11,000	0.9
手数料	14,960	15,840	△880	△5.6
繰入金	169,507,000	158,092,000	11,415,000	7.2
他会計繰入金	169,507,000	158,092,000	11,415,000	7.2
一般会計繰入金	168,988,000	156,438,000	12,550,000	8.0
他会計繰入金	519,000	1,654,000	△1,135,000	△68.6
繰越金	30,100,796	36,578,260	△6,477,464	△17.7
諸収入	18,941,438	26,732,592	△7,791,154	△29.1
雑入	18,941,438	26,732,592	△7,791,154	△29.1
受託収入	8,488,228	8,097,825	390,403	4.8
雑入	10,453,210	10,323,767	129,443	1.3
医療提供体制設備整備交付金(過年度分)	0	429,000	△429,000	皆減
新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援金	0	7,762,000	△7,762,000	皆減
外来対応医療機関設備整備事業補助金	0	120,000	△120,000	皆減
町債	0	11,900,000	△11,900,000	皆減
病院事業債	0	11,900,000	△11,900,000	皆減
計	403,962,346	419,605,025	△15,642,679	△3.7

歳出

(単位:円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
総務費	258,825,010	275,974,321	△17,149,311	△6.2
施設管理費	254,640,610	262,523,521	△7,882,911	△3.0
一般管理費	254,640,610	262,523,521	△7,882,911	△3.0
施設整備費	4,184,400	13,450,800	△9,266,400	△68.9
施設整備費	4,184,400	13,450,800	△9,266,400	△68.9
医業費	65,352,950	50,666,470	14,686,480	29.0
医業費	65,352,950	50,666,470	14,686,480	29.0
医療用機械器具費	13,242,325	14,228,607	△986,282	△6.9
医薬品材料費	48,630,969	32,831,248	15,799,721	48.1
試験検査費	3,479,656	3,606,615	△126,959	△3.5
公債費	62,923,100	62,863,438	59,662	0.1
元金	61,465,611	61,345,180	120,431	0.2
利子	1,457,489	1,518,258	△60,769	△4.0
計	387,101,060	389,504,229	△2,403,169	△0.6

款	1. 総務費	項	1. 施設管理費	目	1. 一般管理費	(254,641千円)
主要な事務・事業の説明						
1. 給与等の支出状況						
	(1) 報酬		8,491,359円			
	(2) 給料		45,855,364円			
	(3) 手当等		81,086,854円			
	(4) 共済費		18,028,443円			
	(5) 報償費		19,753,220円			
2. 委託料 (単位：円)						
	業務名	R6	R5	R4	業者名	
	医事業務	16,632,660	17,192,648	16,938,460	(株)ニチイ学館	
	清掃業務	4,725,600	4,290,000	4,092,000	(株)オイラー	
		68,355	68,059	62,937	(一社)金ヶ崎町シルバー人材センター	
	消防用設備保守点検業務	132,000	132,000	132,000	高昌商店	
	クリーニング業務	140,485	127,214	261,329	R6、R5 秋田基準寝具(株)	
				23,155	R4上段 高章洗染(株) R4下段 ワタキューセイモア(株)	
	複写機保守点検業務	176,583	189,086	211,335	(株)アベヤス	
	自家用電気工作物保安管理業務	340,230	360,030	331,188	(一財)東北電気保安協会岩手事業本部	
	機械警備業務	653,400	653,400	653,400	セコム(株)	
	電子カルテシステム保守業務	1,359,600	1,359,600	473,814	R6、R5 共立医科器械(株)	
				473,814	R4上段 PHCメディコム(株) R4下段 共立医科器械(株)	
	受水槽清掃点検業務	66,000	66,000	66,000	(株)オイラー	
	空調機器保守点検業務	1,059,300	1,051,084	1,000,000	ダイキン工業(株)	
	蒸気加湿機保守点検業務	302,500	1,060,510	737,000	ユーキャン(株)	
	全熱交換機保守点検業務	616,000	616,000	616,000	三菱電機ビルソリューションズ(株)	
	自動ドア保守点検	55,000	27,500	55,000	三和シャッター工業(株)	
	非常用発電機保守点検	580,800	388,300	275,000	北上電工(株)	
	処方データ転送ソフト導入業務	253,000	-	-	(株)バイタルネット	
	モバイル端末用オンライン資格確認設定業務	220,000	-	-	共立医科器械(株) 【財源】その他58%、一般42% (社会保険診療報酬支払基金 128,000円)	
	滅菌消毒業務 他	59,169	52,228	61,941		
	計	27,440,682	27,633,659	26,464,373		

款	1. 総務費	項	1. 施設管理費	目	1. 一般管理費	(254,641千円)
---	--------	---	----------	---	----------	--------------

主要な事務・事業の説明

3. 使用料及び賃借料 (単位：円)

業 務 名	R6	R5	R4	業 者 名
電子カルテシステムリース	3,590,400	3,590,400	1,795,200	(株)日医リース
床マット賃借	280,500	280,500	277,695	ダスキン北上支店
カーテンリース	778,800	778,800	778,800	ワタキューセイモア(株) 盛岡営業所
寝具賃借	305,140	273,768	240,900	ワタキューセイモア(株) 盛岡営業所
宿舍借上	734,760	737,400	737,400	大東建託パートナーズ(株)
仮設ハウスリース	237,600	237,600	237,600	東北工業(株)
AED賃借	79,200	79,200	79,200	セコム(株)
タクシー借上 他	1,552,252	1,419,727	1,562,867	
計	7,558,652	7,397,395	5,709,662	

4. 備品購入費 (単位：円)

件 名	業 者 名	金 額
タブレット (訪問診療等オンライン資格確認用)	(有)もりや	68,750

◇ 第十一次町総合計画指標
「いきいきと健やかに暮らせるまち」

目標指標	単位	現状値	目標値	実績値
主治医・かかりつけ医があると答えた町民の割合	%	72.9 (R1)	78.2 (R7)	72.3 (R6)

款	1. 総務費	項	2. 施設整備費	目	1. 施設整備費	(4,184千円)
---	--------	---	----------	---	----------	------------

主要な事務・事業の説明

1. 備品購入費 (単位:円)

件名	業者名	金額
吸入器	共立医科器械(株)	56,100
調剤システム機器	(株)バイタルネット	3,798,300
内視鏡キャビネット	共立医科器械(株)	330,000
計		4,184,400

款	2. 医 業 費	項	1. 医 業 費	目	1. 医療用機械器具費	(13,242千円)
---	----------	---	----------	---	-------------	-------------

主要な事務・事業の説明

1. 修繕料 (単位：円)

業 務 名	業 者 名	金 額
大腸ビデオスコープ修繕	共立医科器械(株)	300,960
上部消化管汎用ビデオスコープ修繕	共立医科器械(株)	282,469
薬用ショーケース修繕	共立医科器械(株)	29,700
被ばく線量管理システム無停電装置 (UPS) 交換修繕	共立医科器械(株)	64,900
薬用保冷库修繕	共立医科器械(株)	41,800
高圧蒸気滅菌装置性能検査に伴う保守 点検整備及び修繕	レジットメディカル(株)	229,460
高圧蒸気滅菌装置記録計修繕	レジットメディカル(株)	242,000
計		1,191,289

2. 委託料 (単位：円)

業 務 名	R6	R5	R4	業 者 名
生化学分析装置保守点検業務	638,000	638,000	176,000	(株)南部医理科
多項目自動血球分析装置保守点 検業務	642,400	642,400	642,400	共立医科器械(株)
超音波診断装置保守点検業務	275,000	101,750	203,500	R6 共立医科器械(株)
		440,000	440,000	R5、4上段 コセキ(株) R5、4下段 共立医科器械(株)
CT装置保守点検業務	2,310,000	2,310,000	2,310,000	共立医科器械(株)
生理検査システム保守点検業務	417,340	286,000	286,000	(株)南部医理科
X線デジタルシステム保守点検 業務	712,800	690,800	646,800	共立医科器械(株)
骨密度測定装置点検業務	225,500	225,500	225,500	共立医科器械(株)
造影剤自動注入機点検業務	330,000	264,000	264,000	共立医科器械(株)
統合型データ管理システム保守 点検業務	1,320,000	1,320,000	1,292,500	共立医科器械(株)
デジタルX線TVシステム保守 業務	369,600	316,800	316,800	共立医科器械(株)
一般撮影装置保守業務	198,000	171,600	171,600	共立医科器械(株)
非接触眼圧計保守点検業務	39,600	39,600	39,600	(株)日本眼科医療センター
散瞳無散瞳眼底カメラ保守点検 業務	37,400	37,400	37,400	(株)日本眼科医療センター
内視鏡保守点検業務	371,511	-	-	共立医科器械(株)
計	7,887,151	7,483,850	7,052,100	

款	2. 医 業 費	項	1. 医 業 費	目	1. 医療用機械器具費	(13,242千円)
---	----------	---	----------	---	-------------	-------------

主要な事務・事業の説明

3. 使用料及び賃借料

(単位：円)

業 務 名	R6	R5	R4	業 者 名
酸素供給装置賃借	429,000	858,000	970,530	北良(株)
睡眠評価装置賃借	594,000	381,700	181,500	R6、R5 (株)南部医理科
			74,690	R4上段 (株)南部医理科 R4下段 北良(株)
外注検査依頼システム使用	66,000	66,000	66,000	(株)盛岡臨床検査センター
携帯型輸液ポンプ賃借	48,400	145,200	145,200	共立医科器械(株)
放射線量測定器利用	-	14,000	14,000	岩手県国民健康保険団体連合会
統合データ管理システムサーバーリース	1,438,800	1,438,800	839,300	(株)日医リース
人工呼吸器賃借	1,145,650	982,080	605,000	北良(株)
胸部画像診断支援システム使用	198,000	132,000	-	共立医科器械(株)
内視鏡洗浄消毒装置リース	118,800	-	-	共立医科器械(株)
計	4,038,650	4,017,780	2,896,220	

款	2. 医 業 費	項	1. 医 業 費	目	2. 医 薬 品 材 料 費	(48,631千円)
---	----------	---	----------	---	----------------	-------------

主要な事務・事業の説明

1. 医薬材料費 (単位：円)

	R6	R5	R4	摘 要
薬品	34,475,600	18,580,066	19,988,292	
診療材料費	13,161,623	12,916,994	12,871,505	
計	47,637,223	31,497,060	32,859,797	

2. 委託料 (単位：円)

業 務 名	R6	R5	R4	業 者 名
医療廃棄物運搬処理業務	993,746	1,334,188	1,584,878	(株)有田屋

款	2. 医 業 費	項	1. 医 業 費	目	3. 試 験 検 査 費	(3,480千円)
---	----------	---	----------	---	--------------	------------

主要な事務・事業の説明

1. 委託料

(単位：円)

業 務 名	R6	R5	R4	業 者 名
ホルター型心電図解析業務	198,000	247,500	291,500	(医) 菜園循環器内科医院
臨床検査業務	1,922,411	1,777,717	4,974,072	㈱盛岡臨床検査センター
検体検査業務	240,800	258,000	395,600	岩手医科大学
	76,670	89,210	65,780	D P R ㈱
X線読影業務	688,050	759,000	716,100	鈴木画像診断研究所
個人被曝線量測定業務 他	141,392	158,280	157,232	
計	3,267,323	3,289,707	6,600,284	

款	3. 公 債 費	項	1. 公 債 費	目	1. 元	金	(61,466千円)
---	----------	---	----------	---	------	---	-------------

主要な事務・事業の説明

1. 償還金の状況

長期債償還元金 61,465,611円

(単位：円)

償還先		上期償還元金	下期償還元金	計
政府資金	財政融資資金	1,087,255	1,087,418	2,174,673
	地方公共団体金融機構資金	29,630,479	29,660,459	59,290,938
計		30,717,734	30,747,877	61,465,611

款	3. 公 債 費 項	1. 公 債 費 目	2. 利 子	(1,457千円)
---	------------	------------	--------	------------

主要な事務・事業の説明

1. 償還利子等の状況

長期債償還利子 1,457,489円

(単位：円)

償還先		上期償還利子	下期償還利子	計
政府資金	財政融資資金	979	816	1,795
	地方公共団体金融機構資金	713,006	683,026	1,396,032
	市中銀行融資資金	30,157	29,505	59,662
計		744,142	713,347	1,457,489

国民健康保険診療施設特別会計

【歯科勘定】

歯科医師 1 人、歯科衛生士 1 人体制であった。

前年度と同様、診療所での診療に加え健康管理事業に取り組み、訪問歯科診療を実施した。また、乳幼児から高齢者までの広い年代への検診を実施した。

1. 診療所の状況

(1) 診療科目

歯科、小児歯科

(2) 職員数（令和 7 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

職種	区分	正 規	非常勤	計
	歯科医師		1	0
歯科衛生士		1	0	1
計		2	0	2

2. 業務の概要

(1) 年延べ外来患者数、1 日平均患者数、1 人平均診療単価

（単位：人・円）

診療科	年延べ外来患者数		1 日平均患者数		1 人平均診療単価	
	R6	R5	R6	R5	R6	R5
歯 科 (うち小児歯科)	3,488 (186)	3,418 (156)	15.5 (0.8)	15.6 (0.7)	7,406	7,644

※診療日数は令和 6 年度 224.5 日、令和 5 年度 219 日。

(2) 職員 1 人 1 日当たり患者数

（単位：人・%）

職種	区分	R6	R5	増 減	増 減 率
歯科医師		15.5	15.6	△0.1	△0.6

(3) 在宅訪問活動

（単位：人・回・%）

区 分		R6	R5	増 減	増 減 率
訪問歯科	実人数	17	11	6	54.5
	延べ人数	68	36	32	88.9
	延べ回数	33	25	8	32.0

(4) 保健活動の状況

受診者数

(単位：人)

項 目		乳幼児	幼稚園	一 般	計
検 診	成人歯科検診	—	—	40	40
	妊婦歯科検診	—	—	5	5
	75歳歯科検診	—	—	5	5
	幼稚園児歯科検診	—	107	—	107
	乳幼児歯科検診	279	—	—	279
計		279	107	50	436

(5) 事業分析

(単位：円・%)

項 目	R6	R5	増 減	増 減 率
患者1人当たり医療材料費	833	879	△46	△5.2
診療収入に対する職員給与費の割合	92.8	95.0	△2.2	△2.3
診療収入に対する医療材料費の割合	10.7	11.5	△0.8	△7.0

3. 決算の状況

(1) 収支状況

歯科の歳入総額は、46,943千円、歳出総額は42,662千円となり、収支差引残額は4,280千円となった。

※歳入総額と歳出総額の差引額が一致しない場合は端数整理によるものである。

(2) 歳入

歯科の歳入は、診療収入が27,042千円で57.6%、繰入金は14,161千円で30.2%を占めている。

(3) 歳出

歳出は、一般管理費が35,169千円で82.4%、医療品材料費は6,922千円で16.2%を占めている。

歳 入

(単位：円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
診療収入	27,042,404	26,172,706	869,698	3.3
外来収入	27,006,500	26,106,706	899,794	3.4
国民健康保険診療報酬収入	4,693,904	5,639,308	△945,404	△16.8
社会保険診療報酬収入	3,729,314	3,470,381	258,933	7.5
後期高齢者医療保険診療報酬収入	13,971,552	12,449,093	1,522,459	12.2
一部負担金収入	4,611,730	4,547,924	63,806	1.4
その他診療収入	35,904	66,000	△30,096	△45.6
自由診療収入	35,904	66,000	△30,096	△45.6
使用料及び手数料	2,970	3,080	△110	△3.6
手数料	2,970	3,080	△110	△3.6
繰入金	14,161,000	14,098,000	63,000	0.4
他会計繰入金	14,161,000	14,098,000	63,000	0.4
一般会計繰入金	14,135,000	14,083,000	52,000	0.4
他会計繰入金	26,000	15,000	11,000	73.3
繰越金	3,961,559	10,037,736	△6,076,177	△60.5
諸収入	1,775,081	1,885,350	△110,269	△5.8
雑入	1,775,081	1,885,350	△110,269	△5.8
受託収入	463,050	446,660	16,390	3.7
雑入	1,312,031	1,438,690	△126,659	△8.8
計	46,943,014	52,196,872	△5,253,858	△10.1

歳 出

(単位：円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
総務費	35,169,102	40,830,382	△5,661,280	△13.9
施設管理費	35,169,102	40,830,382	△5,661,280	△13.9
一般管理費	35,169,102	40,830,382	△5,661,280	△13.9
医業費	7,493,124	7,404,931	88,193	1.2
医業費	7,493,124	7,404,931	88,193	1.2
医療用機械器具費	571,395	599,390	△27,995	△4.7
医療品材料費	6,921,729	6,805,541	116,188	1.7
計	42,662,226	48,235,313	△5,573,087	△11.6

款	1. 総務費	項	1. 施設管理費	目	1. 一般管理費	(35,169千円)
---	--------	---	----------	---	----------	-------------

主要な事務・事業の説明

1. 給与等の支出状況

(1) 給料	9,142,500円
(2) 手当等	12,616,696円
(3) 共済費	3,324,192円

2. 委託料

(単位：円)

業 務 名	R6	R5	R4	業 者 名
医事業務	5,647,620	5,302,836	5,050,320	(株)ニチイ学館
歯科医事システム保守点検業務	198,000	198,000	198,000	(株)シグマソリューションズ
オンライン資格確認システム保守業務	50,160	50,160	16,720	(株)シグマソリューションズ
計	5,895,780	5,550,996	5,265,040	

款	2. 医 業 費	項	1. 医 業 費	目	1. 医療用機械器具費	(571千円)
---	----------	---	----------	---	-------------	---	--------

主要な事務・事業の説明

1. 修繕料 (単位：円)

業 務 名	業 者 名	金 額
スピットン交換	ササキ(株)	37,730
タービンカートリッジ交換	ササキ(株)	34,100
ビューライトLEDランプ交換	ヘンリーシャインジャパンイースト(株)	3,630
フリーアーム修理	ササキ(株)	72,380
ユニット修理	ササキ(株)	38,500
計		186,340

2. 備品購入費 (単位：円)

件 名	業 者 名	金 額
ドクターチェアー	ササキ(株)	179,080

款	2. 医 業 費	項	1. 医 業 費	目	2. 医 療 品 材 料 費	(6,922千円)
---	----------	---	----------	---	----------------	------------

主要な事務・事業の説明

1. 医薬材料費 (単位：円)

	R6	R5	R4
診療材料費	2,905,490	3,004,997	3,882,652

2. 委託料 (単位：円)

	業 者 名	R6	R5	R4
歯科技工補綴業務	(株)F・Kデンタル デンタルアート・エヌ	4,016,239	3,800,544	4,060,358

訪問看護ステーション事業特別会計

1. 概 況

金ケ崎町訪問看護ステーションは、利用者・家族・主治医・介護支援専門員との連携を深めサービスの向上に努めた。国保金ケ崎診療所所長が訪問看護ステーション所長を兼務し、国保金ケ崎診療所の訪問診療と連携をとり事業を展開した。職員は、専任職員3人、国保金ケ崎診療所との兼務職員6人の体制で、24時間緊急対応、休日ケアプラン対応によるサービスを実施した。

財政状況は、歳入総額が29,785千円、歳出総額28,188千円で、収支差引額1,596千円である。

※歳入総額と歳出総額の差引額が一致しない場合は端数整理によるものである。

2. 財政状況

歳 入 (単位：円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
療 養 給 付 費	5,809,305	5,973,288	△163,983	△2.7
利 用 料	780,019	707,244	72,775	10.3
介 護 給 付 費	5,797,253	8,217,536	△2,420,283	△29.5
自 己 負 担 金	627,257	932,504	△305,247	△32.7
繰 入 金	14,970,000	11,935,000	3,035,000	25.4
繰 越 金	1,324,285	828,342	495,943	59.9
諸 収 入	476,500	46,000	430,500	935.9
合 計 (A)	29,784,619	28,639,914	1,144,705	4.0

歳 出 (単位：円・%)

科 目	R6	R5	増 減	増 減 率
給 料	13,011,000	12,779,700	231,300	1.8
職 員 手 当	8,352,963	8,598,900	△245,937	△2.9
共 済 費	3,990,642	3,957,142	33,500	0.8
旅 費	1,980	0	1,980	皆増
需 用 費	460,855	427,118	33,737	7.9
役 務 費	140,570	148,227	△7,657	△5.2
委 託 料	55,000	0	55,000	皆増
使用料及び賃借料	435,600	534,600	△99,000	△18.5
備 品 購 入 費	374,000	0	374,000	皆増
負 担 金	35,000	35,000	0	0.0
公 課 費	6,600	6,600	0	0.0
繰 出 金	1,324,285	828,342	495,943	59.9
合 計 (B)	28,188,495	27,315,629	872,866	3.2

歳入歳出差引残額 (単位：円・%)

	R6	R5	増 減	増 減 率
歳入(A) - 歳出(B)	1,596,124	1,324,285	271,839	20.5

款	1. 事業費	項	1. 事業費	目	1. 訪問看護事業費	(28,188千円)	
主要な事務・事業の説明							
1. 使用料及び賃借料 (単位：円)							
		R6	R5	R4	摘要		
	訪問看護記録システム利用料	-	99,000	118,800	東邦薬品(株) 令和6年1月システム終了		
	自動車リース料	435,600	435,600	435,600	(株)トヨタレンタリース 令和3年9月から賃借		
2. 負担金補助及び交付金 (単位：円)							
		R6	R5	R4			
	県訪問看護ステーション協議会負担金	15,000	15,000	15,000			
	全国訪問看護事業協会会費	20,000	20,000	20,000			
3. オンライン資格確認及びオンライン請求の導入 (単位：円)							
科目	件名	金額	業者名	摘要			
委託料	ワライン請求設定委託料	55,000	(株)ジェネシス	【財源】その他 100% (社会保険診療報酬支払基金)			
備品購入費	ワライン資格確認用端末	374,000	(株)ジェネシス				
4. 訪問看護実施状況							
(1) 訪問看護ステーション利用状況 (単位：人、%)							
区分		年度	R6	R5	R4	増減 (R5比較)	増減率 (R5比較)
登 実 人	録 数	介護保険対象者	43	53	50	△10	△18.9
		医療保険対象者	12	14	14	△2	△14.3
		計	55	67	64	△12	△17.9
訪 実 人	問 数	介護保険対象者	42	53	50	△11	△20.8
		医療保険対象者	12	14	14	△2	△14.3
		計	54	67	64	△13	△19.4
利 延 べ 人	者 数	介護保険対象者	1,008	1,209	1,182	△201	△16.6
		医療保険対象者	705	732	737	△27	△3.7
		計	1,713	1,941	1,919	△228	△11.7
従 延 べ 人	者 数	介護保険対象者	1,008	1,210	1,182	△202	△16.7
		医療保険対象者	705	732	737	△27	△3.7
		計	1,713	1,942	1,919	△229	△11.8
新規利用者数			21	29	33	△8	△27.6
利用終了者数		入院死	9	4	6	5	125
		老人保健施設	3	2	1	1	50
		老人福祉施設	2	6	3	△4	△66.7
		在宅死	6	14	16	△8	△57.1
		その他	1	9	7	△8	△88.9
		計	21	35	33	△14	△40

款	1. 事業費	項	1. 事業費	目	1. 訪問看護事業費	(28,188千円)
---	--------	---	--------	---	------------	---	-----------

主要な事務・事業の説明

(2)生活圏別利用者 (単位:人、%)

年度		R6 実人数	R5 実人数	R4 実人数	増減 (R5比較)	増減率 (R5比較)
地区						
街	地区	16	15	13	1	6.7
三	ヶ尻地区	6	6	4	0	0.0
南	方地区	9	9	9	0	0.0
西	部地区	5	9	14	△4	△44.4
永	岡地区	9	13	11	△4	△30.8
北	部地区	9	14	13	△5	△35.7
町	外	1	1	0	0	0.0
計		55	67	64	△12	△17.9

(3)実利用の主治医の状況 (単位:人、%)

年度		R6	R5	R4	増減 (R5比較)	増減率 (R5比較)
主治医						
金ヶ崎診療所		39	52	51	△13	△25.0
他医療機関		16	15	13	1	6.7
計		55	67	64	△12	△17.9

(4)利用者の年齢別階層(実数) (単位:人、%)

年齢階層	R6	内 訳				R5	R4	増減 (R5比較)	増減率 (R5比較)
		介護保険		医療保険					
		男	女	男	女				
20～29歳	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
30～39歳	1	0	0	1	0	1	1	0.0	
40～49歳	1	0	0	1	0	0	0	皆増	
50～59歳	2	0	0	2	0	2	2	0.0	
60～64歳	0	0	0	0	0	1	2	△1 皆減	
65～69歳	1	0	0	0	1	3	3	△2 △66.7	
70～74歳	3	2	0	0	1	7	4	△4 △57.1	
75～79歳	5	3	2	0	0	4	3	1 25.0	
80～84歳	1	0	0	1	0	7	8	△6 △85.7	
85～89歳	16	6	6	2	2	14	11	2 14.3	
90歳以上	25	6	18	1	0	28	30	△3 △10.7	
計	55	17	26	8	4	67	64	△12 △17.9	

(5)寝たきり度による分類 (単位:%、人)

年度		R6 構成比	R5			R4 構成比
区分			男	女	計	
J	日常生活自立	10.9	5	1	6	6.0 14.1
A	室内移動可能	43.6	8	16	24	38.8 26.6
B	座位は保てる	29.1	8	8	16	34.3 43.7
C	完全寝たきり	16.4	5	4	9	20.9 15.6
計		100.0	26	29	55	100.0 100.0

款	1. 事業費	項	1. 事業費	目	1. 訪問看護事業費	(28,188千円)
---	--------	---	--------	---	------------	---	-----------

主要な事務・事業の説明

(6) 要介護度による分類 (単位：人)

年度 区分	R6			R5			R4		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
要支援1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	6	6	1	3	4	1	3	4
要介護1	2	3	5	1	2	3	0	3	3
要介護2	5	6	11	8	8	16	2	7	9
要介護3	2	4	6	3	9	12	3	4	7
要介護4	3	7	10	5	7	12	8	9	17
要介護5	2	2	4	3	3	6	5	5	10
非対象者	10	2	12	10	4	14	12	2	14
計	24	31	55	31	36	67	31	33	64

(7) 24時間緊急連絡対応 (単位：人、%)

年度 項目	R6	R5	R4	増減(R5比較)	増減率(R5比較)
電話対応 (うち訪問)	53 (47)	102 (96)	103 (92)	△49 (△49)	△48.0 (51.0)

(8) 休日ケアプラン対応 (単位：回・人、%)

年度 項目	R6	R5	R4	増減(R5比較)	増減率(R5比較)
回数	88	91	84	△3	△3.3
実利用者	14	22	24	△8	△36.4

(9) 主病名別利用者 (単位：人、%)

主病名	R6	R5	R4	増減(R5比較)	増減率(R5比較)
脳血管系疾患	18	14	9	4	28.6
悪性新生物	15	10	8	5	50.0
高血圧系疾患	8	12	12	△4	△33.3
精神神経系疾患	7	10	5	△3	△30.0
循環器系疾患	11	8	6	3	37.5
呼吸器系疾患	2	4	3	△2	△50.0
内分泌系疾患	8	7	4	1	14.3
筋骨格系疾患	17	18	5	△1	△5.6
消化器系疾患	17	13	11	4	30.8
泌尿器系疾患	12	14	10	△2	△14.3
皮膚科系疾患	4	3	3	1	33.3
血液系疾患	2	3	0	△1	△33.3
難病	1	2	1	△1	△50.0

注：重複あり

款	1. 事業費	項	1. 事業費	目	1. 訪問看護事業費	(28,188千円)
---	--------	---	--------	---	------------	-------------

主要な事務・事業の説明

(10) 医療処置の援助内容 (単位：人)

処置内容	人数		
	R6	R5	R4
褥瘡以外の創処置	14	17	21
浣腸、摘便	19	19	26
褥瘡処置	6	16	16
留置カテーテル管理	12	15	13
尿道カテーテル交換、導尿	3	6	9
経管栄養（胃瘻、食道瘻）	0	2	4
喀痰吸引	2	2	6
点滴の実施	4	6	8
人工肛門、人工膀胱の管理	2	2	5
検体採取（採血、採尿）	6	2	5
在宅酸素の管理	0	4	6
軟膏処置	32	39	40
導尿	4	-	-

注：重複あり

(11) 看護内容 (単位：人)

看護内容	人数		
	R6	R5	R4
病状観察	55	61	64
家族の介護指導、支援	33	48	45
身体の清潔保持、管理	128	158	94
褥瘡予防	13	10	23
リハビリテーション(四肢、体幹)	28	30	30
本人の療養指導	25	40	40
呼吸リハビリ・嚥下訓練	4	10	7
口腔ケア	7	5	16
看取りケア	8	14	16
服薬管理、指導	32	33	33
食事や水分の摂取介助	20	24	18
排泄ケア	4	5	5

注：重複あり

2. 部門別活動状況

内 科

内科長 加藤 喜信

令和6年度も内科外来として医師の体制が変わることなく、診療を継続することができました。消化器内科の検査のうち、上部消化管内視鏡検査は399例で昨年と同数でした。2例の早期胃癌を見つけ、うち1例は進行大腸癌も併発しておりましたが、1例はESDで内視鏡的に治療できました。また進行胃癌は1例発見しました。胃癌全体としては昨年より1例少ない結果でしたが、今後とも広く内視鏡検査を行い、可能である限り早期のうちに癌を発見できるようにしたいと考えております。

下部消化管内視鏡検査は104例施行しましたが、こちらは昨年より2例少ないもののほぼ同数となりました。そのうち大腸癌を5例認め、これは昨年より3例多く、いずれも進行癌であり肝転移を認めた症例もありました。大腸癌は今なお増加傾向のある癌ですが、特に今年は高齢者の大腸癌が多く見られました。大腸癌は下血や便秘などの症状が出てから見つかるものは進行癌が多いため、出来るだけ大腸がん検診を受けていただき、便潜血陽性の人は必ず2次検診の大腸内視鏡検査を受けていただけるような教育およびシステムが必要と思われれます。逆に高齢者の大腸内視鏡検査はリスクも多いため、年齢ではなく活動性などを鑑み、リスクとベネフィットを考慮する必要があると思われれます。

検査以外の診療は、令和5年度と大きな違いはないものの、90歳以上の外来患者も増えてきたため、超高齢者に対する医療の工夫も必要になってきており、介護や包括医療とより連携をとって行く必要があると感じています。

◇令和6年度 検査・処置件数

(単位：件)

	R6	R5	R4	R3
上部内視鏡検査	399	399	426	426
下部内視鏡検査	104	106	128	92

神 経 内 科

担当看護師 石母田 陽子

令和6年度も、岩手医科大学附属病院脳神経内科より大浦一雅先生の応援をいただき、毎週木曜日午後の診療を行うことができました。患者数は前年度から32名減の166名でした。今年度も昨年同様、所内の各科からの紹介に加え、数名ではありますが近隣医療機関からの紹介がありました。1日平均患者数は約4人で、おもな症状は、手足のしびれ、めまい、ふらつき等でした。

次年度は毎週水曜日午後到大浦真央先生に応援いただきます。今後も各科と協力しながら患者数の増加に取り組んでいきたいと思っております。

神経内科の診療は以下のとおりです。

<令和6年度>

診療医師 大浦 一雅 先生

診 察 日 毎週木曜日午後

診療時間 (完全予約制) 14時～受付された方が終了するまで

<令和7年度～>

診療医師 大浦 真央 先生

診 察 日 毎週水曜日午後

診療時間 (完全予約制) 14時～受付された方が終了するまで

呼吸器内科

担当看護師 新岡 蘭

令和4年度より、北上済生会病院呼吸器内科より小川純一先生の応援をいただき、呼吸器内科の診療を開始しています。毎週月曜日の午前に診療を行っており、令和6年度の患者数(延べ人数)は、256人(うち初診47人)で、前年度より24人増(初診1人減)でした。

所内各科からの紹介に加え、結核検診で異常を指摘され受診される患者や、SARS-CoV-2感染症罹患後、あるいは、長引く咳嗽等の症状に悩まされ不調が続く患者の受診等が多くみられました。

所外にて精査や加療が必要な場合は、近隣の医療機関へ紹介し、速やかに治療が受けられるよう対応できました。

◇令和6年度 検査・処置件数

(単位：件)

検査・処置	件数	前年度件数	前年度比較
肺気量分画 フローボリュームカーブ	12	10	2
胸部X線	40	44	△4
CT(造影含む)	51	56	△5
細胞診	2	3	△1
培養	6	0	6

循環器内科

担当看護師 高橋 須磨

令和6年度も引き続き、佐藤紀夫先生に応援をいただき、毎週木曜日の午前に診療を行うことができました。1日平均15人程度の患者が来院しており心房細動、心室性期外収縮、うっ血性心不全など病気の診断、治療が中心でした。入院が必要な患者は他病院へのご紹介とスムーズな連携を図っていただいています。

◇令和6年度患者数（延べ人数）：618人

上記のうち初診：17人

ホルター心電図検査数：18件

心エコー図検査数：15件

外 科

外科長 古田 一裕

外科診療内容は消化器一般外科、整形外科疾患、癌一般の診断および癌末期の在宅管理を主に行っています。

消化器一般外科としては消化器疾患、肛門疾患、外傷、体表の腫瘍、褥瘡、皮膚疾患、爪の疾患、熱傷を主な診療対象としています。創処置、熱傷に関しては可能な症例には閉鎖湿潤療法を心がけて診療しています。また褥瘡に関しては解放湿潤療法を主に行っています。巻き爪に対しては主に矯正治療のコレクティオを行っていますが自由診療のため実績が上がっていません。難治症例に関してはフェノール法を行っています。

肛門疾患に関しては診断と保存的治療を行っています。内痔核に対しては四段階注射療法（ジオン注射療法）の導入を準備しましたが、手術が必要な症例と同様に手術可能な近隣外科に紹介をしています。

整形外科疾患に関しては骨折、腰痛、肩関節周囲炎、骨粗鬆症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症の診察をしています。加えて平成 30 年 7 月より、月 2 回の非常勤医師による整形外来が開始されました。令和 2 年 4 月より毎週の診察となっています。専門的な加療を必要とする整形外科疾患、緊急を要さない骨折が当院でも診療可能になりました。近隣開業整形外科、県立江刺病院整形外科、県立胆沢病院整形外科、北上済生会病院整形外科、県立中央病院整形外科に紹介し診断および治療の確定をした後に当科での経過観察とするようにしています。人口構成の高齢化に伴って、整形外科疾患の診察の需要が昨年にも増して増加しており、今後もさらに高まると思われれます。

癌の診療に関しては内科、加藤先生の協力のもと上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を積極的に行っています。また癌末期の在宅診療、在宅緩和ケア、看取りも積極的に行っています。県立胆沢病院、県立中部病院の化学療法の補助（GCSF の投与）も行うようにしています。

高齢者の転倒による頭部外傷に対して積極的な頭部 C T 撮影をしています。頭蓋内出血、頭蓋骨骨折、顎骨骨折、眼窩底骨折、鼻骨骨折を伴う症例を認め近隣脳外科・形成外科への紹介を行っています。今後も継続して撮影を行うこととしています。

令和 6 年度の診療実績は前年度と比べてほぼ同様となっています。新型コロナ 5 類移行後も外科の受診者数は増加しない傾向は継続しています。

◇令和6年度 外来診療実績

(単位：件、人)

	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27
創処置・小手術	83	54	66	74	107	77	58	60	44	45
抜爪・爪囲炎	49	51	34	44	14	3	22	3	18	3
2度熱傷以上	28	28	52	16	58	51	39	8	8	9
切開排膿	22	7	22	20	31	15	7	17	22	26
コレクティオ	0	0	0	2	1	2	3	1	2	2
肛門鏡	27	26	14	15	22	19	17	26	28	29
肛門疾患患者数	152	150	138	164	139	128	100	99	75	-
骨粗鬆症患者数	498	520	513	537	508	490	300	456	626	-
骨折の診断	34	44	62	68	80	65	67	180	134	181

◇出席学会等

日本外科学会、日本胃癌学会、日本乳癌学会、日本大腸肛門病学会
全国国保地域医療学会、日本地域医療学会

整形外科

担当看護師 新岡 蘭

令和6年度は、北上済生会病院整形外科の大矢康貴先生に応援をいただき、毎週木曜日午後診療を行うことができました。

変形性膝関節症、変形性股関節症の患者をはじめ、脊椎脊髄疾患の患者、骨折や骨粗鬆症、慢性的な疼痛や痺れで悩まれている患者など、様々な疼痛・苦痛を抱える患者が受診しています。

また、これまでは近隣の市町村の整形外科へ通院することが可能であった患者が、高齢となったために通院困難を訴え当院を受診する事も少なくなく、予約枠限度を超える人数の患者を受け入れることも珍しくありません。令和6年度の患者数(延べ人数)は、818人(前年度より65人増)でした。中でも、初診の患者が年々増加傾向にあります。

MRI検査が必要な患者においては、奥州市総合水沢病院や北上済生会病院との連携で精査・診断が可能となっています。手術が必要な患者においても、北上済生会病院や近隣の医療機関との連携をはかることで、スムーズな治療を開始することができています。

◇令和6年度 検査・処置件数

(単位：件)

検査、処置	件数	前年度件数	増減
トリガーポイント	47	53	△6
関節腔内注射	170	158	12
X線	162	165	△3
C T (委託MRI含む)	7	14	△7

泌尿器科

泌尿器科 阿部 俊和

金ケ崎町における高齢化率は岩手県の高齢化率よりは低いようですが、それでも30%を超えております。泌尿器科疾患の多くは加齢に伴うものであり、町内においても患者数は相当数あります。町内で泌尿器科・腎臓内科を標榜している医療機関は当診療所のみであり、健診でPSA高値を指摘された患者、尿蛋白や尿潜血を指摘された患者、また排尿に悩みを感じている方などが当科を受診されます。高齢者においては高血圧や脂質異常症、はたまた糖尿病等の生活習慣病を有しかかりつけ医で治療を受けている方も多くいらっしゃいますが、このような方で泌尿器科的な疾患が生じた場合、かかりつけ医から当科に紹介となる場合もしばしばです。

高齢者における腎泌尿器科疾患の代表は、男性では前立腺肥大症、前立腺癌、女性では過活動膀胱などです。また性別問わず膀胱癌のような尿路癌も加齢とともに増加します。腎臓は老化する臓器であり腎機能は年齢を重ねるとともに徐々に低下していき、高齢者の多くは慢性腎臓病をかかえております。

当診療所は超音波検査装置、経直腸前立腺超音波検査装置、CT、軟性膀胱鏡検査装置、残尿測定装置、尿流測定装置等の医療機器を有しており、これらを用いて膀胱癌に対する内視鏡検査や組織診、前立腺生検等の泌尿器科専門性の高い医療を提供しております。このような検査で手術や放射線治療などの必要性が生じた場合、常日頃より密に連携をとっている県立胆沢病院、奥州市総合水沢病院をはじめ県立江刺病院、県立中部病院等へ紹介し治療をお願いしています。病院での治療が終了後には当科に逆紹介してもらい、当科でフォローを行うことで患者の通院に伴う負担も軽減していると思います。

今後も町内の患者に寄り添える医療を提供して参りますのでよろしくお願いいたします。

◇主な検査・処置

膀胱鏡検査：9件

前立腺生検：1件

尿流測定：17件

残尿測定：109件

超音波検査：71件

自己導尿患者数：6名

膀胱瘻患者数：4名

Foleyカテーテル留置患者数：24名

婦 人 科

担当看護師 木村 優李

令和6年度は、北上済生会病院院長の福島明宗先生と岩手医科大学教授の板持広明先生の2名の医師の応援により、月4回の診療を行うことができました。

婦人科外来の一日平均患者数は約6人と昨年よりやや減少傾向ですが、初診の患者数は昨年より10名増加し、主に町民検診後の9～10月以降に患者数が増加傾向でした。

受診目的として、精密検査、リングペッサリー使用のための処置等経過観察、更年期障害、月経不順、膣炎等でした。

精密検査件数は、細胞診は昨年と同数、超音波検査は昨年より16件増加しており、患者数は年々減少傾向にはありますが、定期的に子宮筋腫や卵巣のう腫等で経過観察する患者が定着してきております。手術や継続的治療が必要な方は盛岡赤十字病院や県立中部病院へ紹介し、スムーズな連携を図ることが出来ました。

婦人科では、さまざまな悩みを抱え、年齢や羞恥心で相談できずにいる方も多いと思われます。小さな悩みでも相談できる環境を作っていきたいと思ひます。

◇令和6年度検査件数

(単位：件)

検査項目	件数
子宮頸部細胞診	50
子宮内膜細胞診	7
超音波検査	76
その他 (CT 造影等)	2

眼 科

主任看護師 高橋 須磨

眼科は平成 30 年 2 月に開設してから約 7 年が経過しました。診療時間は毎週月曜日の午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分の受付となります。

1 週間に 1 度午後のみ診療となりますので、視力・眼圧測定、精密眼底検査、眼底カメラ撮影等検診を中心とした診察となります。月 1 回の視能訓練士による眼鏡矯正を開始し、眼鏡処方も行っております。

診察のうえ、白内障で手術が必要な方や、緑内障で継続的に治療が必要で視野検査が必要な患者様は北上済生会病院へ紹介いたしております。手術後の経過治療は当所で行うことにより患者様の負担の軽減につながったと考えます。また地域連携として県立胆沢病院や北上済生会病院よりご紹介頂くこともあり、今後さらに連携を深めていきたいと考えております。

来院する方は、遠方まで通院することが困難な方が多く、身近な存在としてご利用頂けるよう努力したいと思います。

◇令和 6 年度 患者数（延べ人数）：412 人

上記のうち初診：102 人

◇令和 6 年度検査件数

検査項目	件数
鼻涙管ブジー	9 件
涙管通水、通色素検査	4 件
眼底カメラ	87 件
眼底三次元	25 件
矯正視力	226 件
屈折検査	108 件
細隙灯顕微鏡検査	454 件
精密眼圧	244 件
精密眼底	258 件

歯 科

歯科長 高橋 通訓

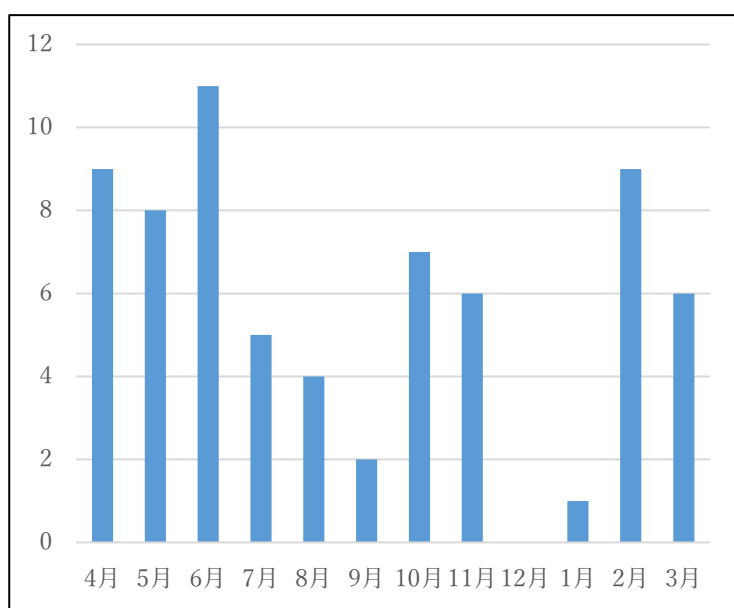
ここ数年、歯周病の定期審査で来院する患者割合が増えてきています。良い傾向だとは思いますが、何度来院してもプラークコントロールや生活習慣が改善しない患者、自身の歯周病が進行していることを理解できていない患者も依然多く、出前講座や教育現場での啓発活動、特に若い世代への関わりが必要だと感じています。

歯科は「時間枠」を売る仕事とも言われています。アポイントを忘れたり、勘違いしたりする患者、さらには無断キャンセルの常習者も含めて依然として多い印象があり、もう一步踏み込んだ対策が必要と感じています。

人間ドックは受けた方のうち70%が歯科項目を受診していました。幼稚園健診の受診児童は令和3年度の146人から39人減り27%減となりましたが、減少幅は鈍化してきています。訪問歯科診療は令和4年度が一番少なかった年から徐々に増加に転じましたが、令和3年度の6割ほどになっています。

令和6年度は3年間準備してきた第64回国保地域医療学会が半世紀ぶりに盛岡で開催され、無事盛会裏に終えられたことが一番印象に残りました。

◇令和6年度 訪問歯科診療月別延べ患者数



◇令和6年度 各種検診人数

(単位：件)

	R6
幼稚園健診	107
1歳半健診	87
3歳半健診	104
2歳半健診	88
内) フッ素塗布	79
妊婦健診	5
成人検診	44
75歳健診	5
人間ドック	7

◇令和6年度 歯科保健活動実績

糖尿病教室						
1	R6	10月25日	金	金ヶ崎診療所 談話交流室	16:00～ 糖尿病教室	

研修医臨床実習						
1	R6	9月26日	木	歯科診療所	研修医臨床実習	1名

岩手医科大学 地域医療体験実習						
1	R6	9月18日	水	歯科診療所	地域医療体験実習	2名
2		10月16日	水	歯科診療所	地域医療体験実習	2名
3		11月21日	木	歯科診療所	地域医療体験実習	2名

北上翔南高等学校インターンシップ						
1	R6	7月17日	水	歯科診療所	インターンシップ	3名

◇出席会議等

R6	4月17日	水	15:00～16:30	Web会議	国保連保健事業推進会議
	5月23日	木	16:00～	Web会議	国保連学術部会「役員会」
	7月9日	火	15:00～	Web会議	第64回全国国保地域医療学会 第3回運営委員会
	8月8日	木	16:00～	Web会議会議	国保連学術部会「役員会」
	9月20日	金	仙台	学会	東北ブロック歯科保健部会
	10月3日	木	盛岡	学会	口腔保健研修会
	10月4日	金	盛岡	学会	第64回全国国保地域医療学会
	10月5日	土	盛岡	学会	第64回全国国保地域医療学会
	10月23日	水	15:00～	Web会議	国保連保健事業推進会議
R7	1月25日	土	盛岡	会議	岩手県地域医療研究会「役員会」
	1月25日	土	盛岡	会議	第7回学術部会
	1月25日	土	盛岡	学会	第64回全国国保地域医療学会 クロージングミーティング
	3月5日	水	16:00～	Web会議	歯科部会
	3月26日	水	16:00～	Web会議	第64回全国国保地域医療学会 第4回運営委員会

禁煙外来

担当医師 阿部 俊和

担当看護師 小野寺 利佳

令和6年度の禁煙外来受診者は残念ながらありませんでした。受診者の減少は年々感じてはいたものの、受診者ゼロは禁煙外来始まって以来初めてのことです。

禁煙に対する意識付けは禁煙活動を根気よく継続することが大事であり、今後も禁煙の重要性を改めて周知して頂けるようポスター掲示等を利用し啓蒙活動を行っていただければと思っております。

従来、当診療所においては内服薬であるチャンピックス（バレニクリン）と貼付薬であるニコチネルTTSによる薬物療法を提供しておりました。パッチより内服薬を好む患者が多かったのですが、製造元の不具合により令和3年度よりチャンピックスが製造、出荷中止の状態となり、その後はパッチのみで治療を行っておりました。そのパッチも一時期入手困難な状態になり、患者の皆様にはご迷惑をおかけしました。

喫煙は発がん性を含め、高血圧や心血管系疾患の大きな誘因であり、禁煙の必要性が叫ばれております。また、本人が喫煙せずとも喫煙する人の周囲の方への受動喫煙も問題視されています。そのため医療者や行政は禁煙運動を更に進める必要があると思っております。

当診療所においてもポスター掲示や広報紙、出前講座を通して啓発活動を進めて参ります。チャンピックスも徐々に流通が再開される見込みです。禁煙に興味のある方は当診療所にご相談ください。

訪問診療

担当看護師 高橋 須磨

令和6年度は昨年度同様、阿部所長、古田副所長、加藤内科長の医師3人と看護師7人合わせて10人体制で訪問診療を行いました。高齢化社会に伴い在宅医療へのニーズが高まる中、病院に通うのが困難になる方や、病気や障害があって通院が困難な患者のもとに定期的に診察を行っています。

令和6年度も昨年度同様、週3回訪問診療を行うことができ、訪問申請件数は63名となりました。うち、令和6年度の新規申請人数は昨年度より14名減少の12名でした。通常訪問診療は月に1～2回の対応をしていますが、患者の容体の変化に応じ足を運ぶことが何度かあり、訪問延べ回数は101回となりました。また、訪問看護ステーションとの連携のもとに、自宅で亡くなられた患者は6名でした。自宅での看取りはご家族の負担もありとても簡単なことではありません。しかし、住み慣れた家で過ごしたい、また自宅で最期を迎えたいという患者の気持ちとご家族の心に寄り添いながら、今後も安心できる医療を提供していきたいと思えます。

◇令和6年度訪問診療等集計表

(単位：人)

		月												合計	R5年度	R4年度
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
訪問診療	訪問診療申請者数	36	33	32	33	33	34	35	34	36	34	33	31			
	訪問実人数	35	28	31	31	32	32	28	32	33	30	29	30			
	訪問延人数	35	28	31	31	32	32	28	32	33	31	29	32	374	421	428
	訪問延回数	8	8	7	9	9	8	9	9	8	8	8	10	101	94	90
	新規依頼患者数	0	0	0	2	0	1	1	3	3	0	2	0	12	26	24
	自宅看取り	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	6	13	15
	施設(入院舎)入所者数	2	1	0	0	0	1	4	1	2	1	1	1	14	24	21
	訪問終了人数	3	1	1	0	0	0	4	1	2	3	2	3	20	31	23

患者紹介、逆紹介

担当看護師 新岡 蘭

令和6年度の他病院への紹介患者は前年度より17人減の255人、逆紹介患者は14人増の148人でした。紹介患者は精密検査が必要な患者や入院が必要な重症患者、消化器のポリープ切除術、泌尿器疾患での手術目的、整形外科領域の精査・治療・手術目的の紹介が多くを占めており、紹介先は主に県立胆沢病院、県立中部病院、県立江刺病院、北上済生会病院でした。また前年度同様、眼科から精査加療目的のため北上済生会病院への紹介も多くみられました。逆紹介では主に近隣や遠方の医療機関から、フォローアップ目的で紹介して頂きました。救急搬送患者は、昨年より3人増の20人でした。

1. 紹介患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	14	13	18	11	20	11	8	10	9	12	9	11	146
総合水沢病院	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	1	6
県立江刺病院	2	0	2	2	0	2	1	0	1	3	1	2	16
県立中部病院	1	1	1	2	0	2	2	3	3	2	4	1	22
北上済生会病院	2	2	1	0	2	2	2	4	4	2	3	3	27
その他	3	3	1	6	2	7	4	2	3	1	3	3	38
累計	23	19	23	21	25	24	18	20	21	20	20	21	255

2. 逆紹介患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	7	6	7	6	6	9	7	6	4	2	5	6	71
総合水沢病院	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	5
県立江刺病院	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	5
県立中部病院	1	2	0	1	1	1	2	2	0	0	0	1	11
北上済生会病院	0	1	0	1	1	0	2	3	1	0	0	0	9
その他	1	5	3	5	5	4	6	6	2	4	3	3	47
累計	11	14	10	13	13	16	17	18	7	8	10	11	148

3. 救急搬送数

(単位：人)

県立胆沢病院	14
総合水沢病院	0
県立江刺病院	2
県立中部病院	1
まごころ病院	2
北上済生会病院	1
累計	20

訪問看護ステーション

訪問看護係長 千田 瑞穂

令和6年度訪問看護ステーション職員体制は、看護師常勤専従3名と常勤兼務6名の体制で行い、本年度から診療所訪問診療のみを受けている患者に対する緊急時の対応を行う体制となり、診療所と情報共有に努め連携を図りました。

訪問看護利用状況は、訪問実人数が54名で前年度より13名減少、新規利用者の獲得が難しい状況でした。そのため訪問延人数は1,713名で前年度より228名の大幅な減少となり、内訳は介護保険対象者が1,008名（前年度1,210名）、医療保険対象者が705名（前年度732名）で、介護保険利用者の減少が目立ちました。新規利用者はそれなりにあったものの入院や施設入所、死亡により短期間の訪問看護利用となるケースが今年度も見受けられました。また、昨年同様に状態安定者は通所系のサービス利用が多く、訪問看護は隔週や月に1回の訪問頻度となる利用者が数名いました。在宅での看取りは6名でした。

その他の業務として、岩手県立大学看護学部学生4名、水沢学苑看護専門学校学生7名の実習を受け入れ対応しました。

地域保健活動

医療係 岩渕 月

地域住民の健康増進を図るため、保健活動を実施しました。

1. 保健活動

事業名	内容	担当者	人数
乳幼児歯科検診	1歳6カ月児歯科健診 86人 2歳6カ月児歯科健診 88人 3歳6カ月児歯科健診 98人	歯科長、歯科衛生士	272人
骨粗しょう症検診	DEXA法による骨塩量測定	医師、放射線技師	257人
歯科検診	成人歯科検診 40人 後期高齢者歯科健診 5人 妊婦歯科健診 5人	歯科長、歯科衛生士	50人
金ヶ崎診療所健康増進運動教室	健康増進及び介護予防のためのストレッチ、筋力トレーニング	講師：（一財）金ヶ崎町生涯スポーツ事業団インストラクター	48回 1,669人

看 護 科

看護師長 小野寺 利佳

1. 看護体制

看護師数 8名 (看護師長1名 主任看護師1名 看護師5名 会計年度任用職員1名
※1名産休となっている)

2. 看護科基本方針

- 1) 安全で安心な医療と看護を提供します
- 2) 医療事故を防止します
- 3) 住民の健康な生活の実現のため、看護領域の展開を行います
- 4) 健康講演会などで知識、意識の啓発を図ります
- 5) 保健医療福祉関係者との積極的な連携を図り協働して看護を提供します

3. 令和6年度の活動と成果

今年度は1名の新規採用があり8名でスタートすることができました。1名は産休、育児時間を取得中です。今年度も日常の診療に加え、医療関連イベントとして時期にかかわらず所内にポスター展示を行いました。また、糖尿病教室については今年度の新たな試みとして町の健康診断で指導が必要な方、糖尿病で治療を受けている方にハガキで案内し10月と12月の2回夕方に行いました。また、日常業務に加え発熱外来等も継続して対応しております。

- | | |
|-------------|----------|
| 1) 糖尿病教室 | 糖尿病教室 2回 |
| 2) 医療関連イベント | 「健康」「救急」 |
| 3) 所内勉強会 | 開催時参加 |

診療放射線室

診療放射線技師 佐々木 清光

(1) 診療放射線室の業務内容

診療放射線部門は、「人に優しく心に温かい地域医療の提供に努めます」を理念に、

1. 患者様の視点に立って行動します。
2. 常に最善の方法を選択する医療を行います。
3. チーム医療を推進します。

を基本方針として業務を行っています。

主な設備は、一般撮影装置・骨密度測定装置・X線透視撮影装置・X線CT撮影装置です。

撮影業務は、保険診療に加えて事業所健診・住民検診・介護福祉施設入所者検診等に、積極的に取り組みました。

令和6年度の撮影件数は、前年度と比べて、一般撮影検査3%増、骨密度検査4%減少、X線TV検査27%減、X線CT検査6%減となりました。エコー検査の人間ドック(腹部エコー検査)は、前年度並みとなりました。

今後とも、皆様の健康維持の一助になればと思います。

(2) 令和6年度の業務統計

項目	一般撮影検査		骨密度検査		X線TV検査		X線CT検査	
	件数	件数/日	件数	件数/日	件数	件数/日	件数	件数/日
4月	79	3.8	57	2.7	11	0.5	34	1.6
5月	126	6.0	60	3.0	7	0.3	36	2.0
6月	146	7.0	102	5.0	7	0.4	37	2.0
7月	101	4.6	143	6.5	5	0.2	25	1.1
8月	214	10.2	77	3.7	6	0.3	60	2.9
9月	227	11.9	161	8.5	8	0.4	36	1.9
10月	216	9.8	62	2.8	7	0.3	44	2.0
11月	166	8.3	142	7.1	6	0.3	32	1.6
12月	208	10.4	118	5.9	7	0.4	40	2.0
1月	111	5.8	34	1.8	7	0.4	44	2.3
2月	100	5.6	42	2.3	8	0.4	32	1.8
3月	129	6.5	108	5.4	7	0.4	31	1.6
累計	1823	7.5	1106	4.6	86	0.4	451	1.9

検査室

主任臨床検査技師 亀井 浩

◇検査室基本方針

1. 患者さまへ信頼のおける検査を心がける
2. 精度の向上と質の高い迅速なデータを提供する
3. 専門知識の習得、技術の研鑽に努める

◇業務動向

令和6年度も発熱外来の受診者が収束せず、一年を通して午前は一般外来業務、午後は主に発熱外来でコロナとインフルエンザの抗原検査を行う事となりました。また、インフルエンザが大流行し、試薬メーカーの出荷調整もあり、検査キットの在庫管理に苦勞しました。しかしながら、早期に発熱患者の原因判別や治療方針の決定に対し寄与できたと思います。

啓発活動の推進としては、コロナ発生以前まで行っていた対面での糖尿病教室を行う事ができました。

検査実績は、ほぼ昨年度と同じ検査件数でした。

◇検査機器の更新

更新機器はありませんでした。

◇令和6年度検査実績

(単位：件)

検査項目	件数 (項目数)
化学検査	37,809
一般検査	17,266
血液学的検査	15,087
血清学的検査	4,258
生理学的検査	812
委託検査	2,696
合計	77,928

* 検査項目は診療報酬点数算定単位

◇令和6年度参加 臨床検査精度管理調査

岩手県医師会
岩手県臨床衛生検査技師会
デタミナーサーベイ
栄研サーベイ
セキスイコントロールサーベイ
ニッターボーメディカルサーベイ

薬 局

薬剤師 小野寺 甲仁

薬剤師の主な業務は以下のとおりです。

1 薬品・診療材料の購入及び管理

見積り、発注、在庫管理によって診療が円滑に実施されるよう心掛けています。

薬品は、在庫管理のため毎月末に棚卸を実施しています。

2 医薬品情報管理（DI）業務

医薬品安全対策情報、製薬会社発行文書を所内で回覧し、最新情報の共有を図っています。医薬品に関する問い合わせについては、製薬会社のホームページを確認するなどして、迅速かつ適切な回答に努めています。

3 所内勉強会の開催

主に診療所職員を対象に、製薬会社の担当者に講師を依頼して開催しています。

令和6年度は、合計4回開催しました。

4 学校薬剤師業務

令和6年度は町内2小学校、1幼稚園、1給食センターを担当しました。

環境衛生検査、薬物乱用防止教室を実施しました。

5 個別ケア会議

隔月第3火曜日の個別ケア会議にアドバイザーとして出席し助言を行いました。

6 出前講座

自治会等からの依頼を受けて、地域住民に「おくすりの正しい使い方」を説明しました。

令和6年度は、合計1回実施しました。

7 その他

- ・ 予防接種に係る業務
- ・ 各種請求業務
- ・ 糖尿病通信の発行

外来栄養指導

主任栄養士 箱崎 栄里

下記のとおり外来患者の方に栄養指導を行いました。

1 年代、性别人数

(単位：人)

年代	男性	女性	合計
20 歳代以下	0	0	0
30 歳代	1	0	1
40 歳代	1	0	1
50 歳代	0	6	6
60 歳代	1	3	4
70 歳代	1	1	2
80 歳代以上	0	1	1
合計	4	11	15

2 病態别人数（重複あり）

(単位：人)

疾病名	人数
糖 尿 病	9
脂質異常症	8
高尿酸血症	1
高血圧症	4
心不全	1
肝機能障害	2
合計	23

人間ドック・検診部門

看護師長 小野寺 利佳

令和6年度も昨年度同様にドック・事業所健診・受託検診として金ヶ崎町役場職員の結核検診、胃内視鏡検査、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査、高齢者施設の結核検診を行いました。事業所健診については前年度に比べ135名の増、人間ドック、特定健診についてはほぼ昨年同様となっております。

健康診断については今後も可能な限り午前、午後問わず対応をしていきたいと思っております。
今年度の件数は以下の通りです。

◇令和6年度検診実績

(単位：人)

検診内容		受検者数
人間ドック		10
事業所健診		931
特定健康診査		38
金ヶ崎町職員検診	結核検診	188
	胃内視鏡検査	95
	骨粗鬆症検診	3
	肝炎ウイルス検査	27

早 朝 診 療

担当看護師 新岡 蘭

平成 21 年 7 月から早朝診療を開始しております。令和 6 年度は昨年度と比較して、60 人増加の患者総数 285 人でした。

令和 6 年度の受診内容は、空腹時の血液検査、通勤前の定期受診、外科の処置が中心でした。対象者は金ヶ崎町内に勤務されている方や学生の利用が多く見受けられました。

今後も患者数増加を目標に、引き続き所内掲示の工夫、広報活動を行い、多くの方々に受診されるよう環境づくりに努めていきたいと思っております。

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H21	0	0	0	26	10	11	9	26	19	6	10	11	128
H22	13	11	7	4	15	10	14	12	20	22	15	12	155
H23	8	20	20	16	17	29	15	17	14	15	28	20	219
H24	20	18	14	21	27	24	19	30	27	28	19	42	289
H25	25	22	31	36	20	27	25	25	26	19	19	19	294
H26	20	21	13	20	12	15	14	18	40	19	17	15	224
H27	22	12	15	15	12	9	19	15	21	22	32	22	216
H28	14	17	25	17	13	11	15	16	11	11	15	11	176
H29	6	18	17	10	5	8	5	9	10	9	12	13	122
H30	13	7	11	11	12	6	19	7	13	21	11	9	140
R1	23	4	10	10	10	10	7	7	16	7	8	12	124
R2	7	14	15	18	7	7	9	10	10	7	11	19	134
R3	21	10	11	11	14	15	19	25	35	15	11	23	210
R4	26	22	15	17	15	18	26	17	16	14	15	24	225
R5	11	14	18	19	26	19	25	21	29	13	20	20	235
R6	26	16	24	13	21	27	36	33	27	21	29	12	285

土曜診療

担当医師 古田 一裕

平成 23 年 7 月より土曜診療を行っています。診療体制は医師の診察のみを行い、X線検査、臨床検査は行なっていません。また、同年 11 月より住民サービスの一環として予約制でワクチン接種を開始しました。

平成 25 年度も前年同様の体制で開始しましたが、平成 26 年 1 月より医師の勤務体制の変化により偶数週土曜日、午前だけの診療に変更されました。

(単位：人)

	R6	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23
月平均 受診者数	25.1	23.0	26.6	24.9	29.8	22.5	25.3	18.2	26.6	25.8	33.8	60.8	61.3	49.2
1 日平均 受診者数	13.3	11.5	13.3	16.6	14.9	10.8	12.7	9.1	13.3	12.9	16.9	17.0	15.3	12.3

平成 26 年度からは月 2 回の診療のため受診患者数は平成 27 年度まで減少傾向にありましたが、その後受診者数は増加し、平成 29 年度は減少しました。平成 30 年度は一度増加しましたが、元年度は減少し令和 2 年度は増加しました。令和 4 年度は令和 3 年度と同様に新型コロナの流行でインフルエンザワクチン接種が土曜診療で行われました。接種増加が 1 日平均の受診者数増加に寄与したと思われます。令和 5 年度は土曜診療でのワクチン接種者数が例年より大幅に減少しました。このため受診者数も減少したと思われます。令和 6 年度は子宮頸がんワクチン接種者、コロナワクチン接種者が増加した事により受診者数が増加したと思われます。

住民サービスとして開始した土曜診療ワクチン接種は令和 6 年度延べ 297 人(令和 5 年度 211 人、令和 4 年度 255 人、令和 3 年度 268 人、令和 2 年度 250 人、令和元年度 142 人、平成 30 年度 154 人、平成 29 年度 81 人、平成 28 年度 155 人、平成 27 年度 108 人、平成 26 年度 108 人、平成 25 年度 230 人、平成 24 年度 172 人) に施行されています。

◇令和6年度 土曜診療ワクチン接種実績

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクトヒブ					1								1
プレベナー					1						1	1	3
ニューモバックス												1	1
麻疹風疹	1							2		1	1	1	6
子宮頸癌	1		2	5	4	13	10	7	3	1	1	13	60
B型肝炎	1										1	1	3
ムンプス	1							3		1	1	1	7
破トキ													0
水痘				1			2					2	5
日本脳炎						1	2	1	3			3	10
DT	1	1						1					3
不活化ポリオ													0
麻疹													0
四種混合					1			2			1	1	5
五種混合											1	1	2
風疹		1											1
ロタ								1			1	1	3
インフルエンザ							39	49	43	12			143
コロナ							20	6	15	2		1	44
合計	5	2	2	6	7	14	73	72	64	17	8	27	297

物理療法

担当看護師 グッドマン愛

令和6年度は、総利用件数が前年度よりも226人減少し、419人にとどまりました。一日平均利用人数は1.7人でした。

令和5年度も外来診療再開（応援診療除く）の周知があまりされていなかった事や、コロナ感染症の不安などが、利用人数減少の要因の一つと考えます。

そのような状況でも、やはり農作業の時期は利用される患者が多く、肩こり・慢性期腰痛・急性期腰痛に対し、低周波やウォーターベッドなどによる治療を行っています。

利用される患者個々の症状を把握し、症状緩和につながるよう努めていきたいと思えます。

◇令和6年度 物理療法実施表

(単位：件、人数)

実施項目	件数	1日平均人数*
熱気浴	0	0.0
牽引(腰)	8	0.1
(頸)	33	0.1
ウォーターベッド	171	0.7
低周波	182	0.7
ホットパック	25	0.1
総利用数	419	1.7
前年度	645	2.7

※土日、祝祭日を除く

発熱外来

担当医師 阿部 俊和

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に感染症法上の2類から5類へ移行いたしました。これにより国民の生活の制限が大幅に緩和され徐々に通常の日常を取り戻しております。しかしながら、COVID-19が終息したわけではなく、高齢者においては時に致死的で年間約3～4万人が新型コロナウイルス感染症で命を落としています。

当診療所での発熱外来は当初と同様、平日の午後にドライブスルー形式で継続しております。これは診療所内での院内感染を予防する目的と医師、看護師を含めた医療スタッフの感染を防ぐ目的です。

令和6年度はインフルエンザも蔓延し、インフルエンザとCOVID-19同時測定キットを用いて行いました。検査件数と陽性率は下記のごとくで、一頃より減少しておりますが、無くなる事はなく今後も続いていくと思われまます。

しばらく現在の発熱外来の形式を継続します。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。

◇令和6年度国保金ヶ崎診療所発熱外来患者受入

月 年度	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減
開設日数	20	21	1	18	20	2	21	19	△2	20	22	2	20	20	0	20	19	△1
受入患者数	56	72	16	52	61	9	52	50	△2	81	117	36	245	192	△53	133	93	△40
コロナPCR検査実施数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナ抗原検査実施数	30	66	36	51	60	9	54	45	△9	67	109	42	229	178	△51	125	86	△39
コロナPCR+抗原検査陽性者数	8	25	17	22	9	△13	17	10	△7	39	56	17	171	111	△60	80	38	△42
無料検査キット陽性者数	1		△1	0		0			0		0				0			0
1日の平均患者数 (受入患者数/ 開設日数)	2.8	3.4	0.6	2.9	3.1	0.2	2.5	2.6	0.2	4.1	5.3	1.3	12.3	9.6	△2.7	6.7	4.9	△1.8

月 年度	10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計		
	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減	R5	R6	増減
開設日数	21	22	1	20	20	0	20	20	0	19	19	0	19	18	△1	20	20	0	238	240	2
受入患者数	72	97	25	87	84	△3	243	230	△13	176	263	87	181	91	△90	173	112	△61	1,551	1,462	△89
コロナPCR検査実施数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コロナ抗原検査実施数	69	93	24	85	81	△4	191	216	25	174	247	73	176	89	△87	148	107	△41	1,399	1,377	△22
コロナPCR+抗原検査陽性者数	14	27	13	10	24	14	19	54	35	40	34	△6	63	11	△52	68	22	△46	551	421	△130
無料検査キット陽性者数			0			0			0			0			0			0	1	0	△1
1日の平均患者数 (受入患者数/ 開設日数)	3.4	4.4	1.0	4.4	4.2	△0.1	12.2	11.5	△0.7	9.3	13.8	4.6	9.5	5.1	△4.5	8.7	5.6	△3.1	6.5	6.1	△0.4

3. 委員会活動

保健福祉センター運営会議

委員長 阿部 俊和

従来、運営会議は診療所、歯科診療所の患者数や収益を職員全員が共有する目的と保健福祉センター事業を職員全体が認識し業務を円滑に運営する目的で行っていましたが、令和3年度のコロナ禍以降、毎月月末の朝礼後に20分程度会議を行うこととし、令和6年度も同様の形式で行いました。対象も診療所、歯科診療所、訪問看護ステーションの幹部職員に限定しました。

はじめに医療系より診療所、歯科診療所部門の毎月の収支、患者数の報告がありました。診療科においては内科、歯科、更に婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科の8つの部門に分け、各々の詳細な収支、患者数、業績の報告がなされました。早朝診療、土曜診療の患者数に関する報告もありました。この会議により診療所、歯科診療所の幹部職員が毎月の経営状態を確認し共有致しました。月の累積の収支等に関する報告もあり、目標に対する進捗状況も認識してもらい経営改善の検討もおこなわれました。

看護科からは訪問診療の件数や看取りの数等の報告がありました。

診療放射線室によるレントゲン検査の推移（CT、骨密度測定、透視、単純写真数など）、臨床検査科における検査数（一般検体検査数、心エコー、脈波検査など）、内視鏡検査数の報告もなされ、検査数の推移や多寡について検討致しました。

訪問看護ステーションからは利用状況、訪問回数、看取りの数や収支が報告されました。

従来行っていた各種委員会報告は時間の関係で令和6年度も割愛となりました。

この会議の本来の目的は診療部門、役場保健福祉センターの事務部門が一堂に会して会議を行い、情報を共有する事により連携を深める事にあります。

コロナ禍が落ち着きましたので診療部門の全職員が参加する形態に戻したいと考えております。

構成員：金ヶ崎保健福祉センター幹部職員

管理委員会

委員長 阿部 俊和

管理委員会は保健福祉センターの幹部職員で構成されており、令和6年度も前年度同様、毎週金曜日の朝10分程度で行いました。

委員会では医師3名、歯科医師1名の翌週、翌々週2週間の出張や訪問診療等のスケジュール、事務長の週間予定に加え、看護科、訪問看護ステーションの行動予定、薬局・検査科・放射線科の2週間の予定と状況の報告がありました。保健福祉センターからは医療係、福祉係、介護保健係、元気100歳支援係のメンバーが2週間の行事予定や会議等のスケジュール、事業の進捗状況等の説明を行い、その調整も同時に行いました。診療所運営上の問題点や課題に関しても協議しました。

診療所、保健福祉センターを運営するうえにおいて幹部職員のスケジュール等のすりあわせは重要であり、今後も継続していきます。

◇委員会構成

委員長	所 長	阿部 俊和			
委員	副 所 長	古田 一裕	内 科 長	加藤 喜信	
	歯 科 長	高橋 通訓	事 務 長	佐藤 康博	
	事務長補佐	佐藤 美幸	事務長補佐	宮 栄司	
	元気100歳健康支援係長	高橋 光緒			
	福 祉 係 長	栗津 文恵	主任臨床検査技師	亀井 浩	
	放 射 線 技 師	佐々木 清光	薬 剤 師	小野寺 甲仁	
	看 護 師 長	小野寺 利佳	訪問看護係長	千田 瑞穂	

広報委員会

医療係長 佐藤 美幸

広報委員会の活動は主として、保健福祉センターだよりの記事案を検討する会で、今年度は、たより発行日の前月に計6回開催しました。

保健福祉センターだよりは、広く町民に診療所、訪問看護ステーション及び保健福祉センターの業務をお知らせするために発行しているものです。

町民が知りたい最新情報を確実にお伝えすることができるよう、今後とも広報委員会の活動を続けてまいります。

1. 委員会構成

委員長	事務長補佐	佐藤 美幸		
委員	所長	阿部 俊和	歯科長	高橋 通訓
	事務長	佐藤 康博	看護師	高橋 須磨
	看護師	吉田 聖子	看護師	木村 優季
	放射線技師	佐々木 清光	主査	多田 麻衣子
	保健師	有住 燈子	主事	千葉 祐太
	主事	岩渕 月		

2. 広報委員会開催日とたより発行日

回数	号数	広報委員会	発行日
1	102	令和6年 5月8日(水)	令和6年 6月20日(木)
2	103	令和6年 7月3日(水)	令和6年 8月15日(木)
3	104	令和6年 9月4日(水)	令和6年10月17日(木)
4	105	令和6年11月6日(水)	令和6年12月19日(木)
5	106	令和7年 1月8日(水)	令和7年 2月20日(水)
6	107	令和7年 3月5日(水)	令和7年 4月17日(木)

3. 発行部数 1号あたり 約5,600部

4. 発行先 町内全世帯、近隣医療機関・福祉施設

環境づくり委員会

委員長 高橋 通訓

令和6年度の作品展示は、下記の日程で行いました。

月	学校名	月	学校名
8月	金ヶ崎小学校	11月	三ヶ尻小学校
9月	第一小学校	12月	西小学校
10月	永岡小学校	2月	金ヶ崎小学校

その他に七夕の飾りつけを例年通り医科外来待合室に設置し、クリスマスツリーは医科歯科両方の待合室に飾りました。昨年に引き続き冬は積雪が少なく、除雪の負担が少ない年でした。コロナ禍以来、外の環境整備を行っていませんが、保健センターと協力し再開したいと考えています。

◇委員会構成

委員長	歯科長	高橋 通訓		
委員	所長	阿部 俊和	主任臨床検査技師	亀井 浩
	看護師	石母田 陽子	看護師	新岡 蘭
	看護師	鈴木 麻代子	主任保健師	佐々木 美由紀
	主任保健師	千葉 修子	主 事	高橋 圭太
	保健師	佐々木 結衣		

経営改善委員会

委員長 古田 一裕

経営改善委員会は顧客、財務、業務の質、業務効率、学習と成長の視点からそれぞれに評価指標、目標値、実行計画をたて、それを年度末に評価するBSCによる検討を行っています。

平成29年度に電子カルテの導入、医事システムを変更し、平成30年度は新診療所での業務となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため通常診療に大きな支障を生じました。コロナ感染症以降、発熱患者の空間的分離が必須となったため現在も発熱外来は継続しています。午後に発熱外来を行っているため午後の診療体制はやや制限のある状態が継続しています。コロナ流行後の医療機関受診控え、診療報酬の改定など診療所運営に負となる状況が継続しておりさらなる経営努力が必要と思われます。

◇委員会構成

委員長	副 所 長	古田 一裕		
委 員	所 長	阿部 俊和	歯 科 長	高橋 通訓
	事 務 長	佐藤 康博	事務長補佐	佐藤 美幸
	主任臨床検査技師	亀井 浩	放射線技師	佐々木 清光
	薬 剤 師	小野寺 甲仁	看 護 師 長	小野寺 利佳
	主任看護師	高橋 須磨	訪問看護係長	千田 瑞穂
	主 事	高橋 圭太		

令和6年度金ヶ崎診療所バランススコアカード【診療部門】

視点	戦略課題（目標）	部門課題（目標）	評価指標・目標値		アクションプラン	実測値	達成率		
			評価指標	本年度目標値					
顧客の視点	専門医療の充実	消化器内科、外科、腎臓内科、泌尿器科、神経内科における専門性の高い医療の提供	上部消化管内視鏡検査数	400件	広報活動の充実、既往患者のf/u	399	99.8%		
			下部消化管内視鏡検査数	110件	広報活動の充実、既往患者のf/u	104	94.5%		
			膀胱鏡検査数	10件	血尿患者への積極的アプローチ	8	80.0%		
			前立腺生検	3件	前立腺検診、広報	1	33.3%		
			腹部超音波検査件数	80件	スクリーニングとしての定期検査	173	216.3%		
	医療、保健、福祉が一体となった地域活動の展開	出前講座	出前の件数	出前の件数	10件	広報活動の充実、既往患者のf/u	2	20.0%	
				糖尿病教室冊子配布	開催回数	6回	通院患者および広報紙での周知	2	33.3%
				広報紙による疾病啓発	広報紙の定期発行	5回	広報委員会の定期開催	5	100.0%
	患者満足度の向上	早期診療の継続	早期診療患者数	早期診療患者数	220名	広報紙の活用、出前での宣伝	275	125.0%	
				禁煙外来の継続	禁煙外来患者数	5件	広報紙の活用、出前での宣伝	0	0.0%
				訪問診療の拡充	訪問患者数	65例	通院不能患者への働きかけ	48	73.8%
	地域医療機関との連携強化	診療応援	診療応援回数	診療応援回数	週3.5件	手術応援、検査応援、当直の応援	3.5	100.0%	
通院の利便による逆紹介				逆紹介回数	120件	病診連携強化	148	123.3%	
財務の視点	患者数の増加	外来患者数の増加	内科外来患者延数	20000人/年	広報活動および医院、施設との連携	19834	99.2%		
	単価アップ	内科単価アップ	外来単価	8000	必要な定期検査の実施	7209	90.1%		
	検査機器の活用	ABIの活用	検査件数	30件	運営会議での検査件数報告	17	56.7%		
			DEXAの活用	検査件数	1100件	運営会議での検査件数報告	1148	104.4%	
			UCGの活用	検査件数	40件	運営会議での検査件数報告	27	67.5%	
薬品、資材の差益	差益巾の大きい薬剤使用	使用品目	5件	薬事委員会での検討	5	100.0%			
業務の質の視点	インフォームドコンセントの推進	検査、手術同意書100%	検査、手術同意書 実施率	100%	説明内容書類等の充実	100%	100.0%		
	医療安全対策	侵襲的検査時の薬剤確認	検査中、検査後の出血	0件	問診、薬剤の確認	0	100.0%		
	感染防止対策の促進	感染防止研修会	研修会開催数	1回	院内勉強会での実施	1	100.0%		
業務効率	圏域内病診連携	診療応援など	紹介患者件数	250件	紹介先への診療応援、研修会出席	255	102.0%		
学習と成長の視点	職員の能力向上	各種学会への参加、発表	学会発表数	1回	学会発表のための取組み強化	0	0.0%		
			参加数	6回	自己研鑽の奨励	15	250.0%		
			論文作成	論文数	1編	論文作成のための取組み強化	0	0.0%	

令和6年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【外科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施結果（実施値）
		評価指標・目標値	本年度目標値		
顧客の視点	外科外来開始の周知	他院よりの紹介		実数の把握	
	広報紙への投稿	投稿回数	2		2
財務の視点	新しい処置の導入	コレクティオ	2		0
	診療報酬点数の確認				
	医療材料の見直し				
業務の質の視点	外傷処置の見直し	湿潤療法の施行数		可能な症例は全例	
	癌化学療法中患者の診療・管理	外来化学療法			0
業務効率の視点	外来診療の効率化			他科との連携	
学習と成長の視点	新しい知見を学習	地域の研究会への出席	できるだけ頻回		1回
		学会へ出席	5回		5回
	新しい技術の習得				
	肛門科	肛門疾患診察実績（実人数）	150名		152名
		肛門鏡検査	26名		27名

外科における令和6年度のB S C実績と令和7年度計画の骨子

外科長 古田 一裕

外科疾患の診療実績は令和6年度外科年報でみると前年度と比べて外科関連疾患数は大きく変化はありませんでした。現在も発熱外来は継続されており、午後の外科診療の予約を控えています。外科の受診者数に著名な変化はなく、処置数にも著変はありません。町内で外科対象疾患の初診施設として定着したと思われる。コレクティオに関しては実績が0例であり、ポスター等にての啓蒙も行っていますが自費診療であることも関係していると思われる。

整形外科外来は平成30年7月より2週おきに診療を行いました。令和2年度からは毎週となっています。骨折患者、肩関節周囲炎、腰痛症、膝関節痛に対して専門医の診断、治療が可能になっています。整形外科領域の住民の需要は多く、整形外科外来日だけでの整形外科領域の患者の診察は不可能であり整形外科医の不在の際には以前と同様に外科での診察の必要があります。金ヶ崎周辺での整形外科領域の紹介先は少なく診療の困難さが増すと思われる。転倒による頭部外傷で頭蓋内出血を伴う症例・頭蓋骨骨折の症例あり近隣脳外科・形成外科への紹介をしました。開業医に通院していましたが高齢のため通院が困難となり、当院での診療希望、訪問診療希望の紹介患者が増えています。対象人口に大きな変化はないため近隣の医療機関とのさらなる積極的交流が診療の充実、受診者数の増加に寄与すると考えられます。

令和6年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【歯科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画		実行結果(%)
		評価指標・目標値	本年度目標値			
		①医療講演の実施	年1回	住民対象の医療講演の実施、(出前講座)	0回	0%
		②訪問診療の充実	延べ年50人以上	訪問看護ステーションとの連携、広報の活用	64名	128%
		③乳幼児健診人数	年 300人	2歳半健診のフッ素塗布を行う	386名	129%
		④成人歯科検診75歳検診、妊婦、ドック	年 50人以上	成人歯科検診受診者を前年を上回ることを目指す	61名	122%
		⑤研修会等への参加	年間1回以上	国保集会、研究会、勉強会等への出席	1回	100%
		⑥歯科学会への出席	年間1回以上	歯周病学会等、専門学会への出席	0回	0%
業務の質の視点	安全・安心な診療の提供	①ヒヤリハット報告件数	3件	医療事故マニュアルチェックの実施	4件	133%
		②機械室の定期点検実施率	年2回	医療機器の点検およびフィルター等の交換	1回	50%
		③患者ごとのインスツルメント滅菌	各患者ごと	タービン、エンジン周辺器具の治療前後の消毒等	必ず行っている	100%
		④待合室の椅子、ドアノブ等の清掃	毎日適宜	アルコール噴霧、拭き取り	毎日行っている	100%
		⑤感染対策講習会の開催	年1回	感染対策関係の講習会出席もしくは独自開催	2回（医科と一緒に）	200%
	効率的業務の推進	①事前連絡のない患者を減らす	1日1人	その都度予約制について理解してもらう	殆ど毎日1人以上いる	0%
		②材料等の簡素化	年3回以上	停滞リストのチェック	2回	67%
財務の視点	収入の確保	①診療報酬改定に関する講習会	年1回以上	国保連講習会等への事務部門参加	0回	0%
	材料費の抑制	②材料リストの見直し	適宜実施	発注時同等製品との価格比較	0回（材料見直しなし）	*

令和6年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【看護部門】

戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標	本年度目標値			
地域啓蒙活動の推進	・医療関連のイベント開催	開催回数	3回	「看護の日」「救急の日」「世界糖尿病デー」他イベント	2回	67%
	・医療講演の実施	開催回数	1回	・出前講座(金中ワークショップ含)	0回	0%
	・糖尿病教室	発行回数	6回	・糖尿病教室の実施または通信の発行(各部署)	6回	100%
患者満足度の向上	・住民の望む看護環境の整備	苦情件数	5件以下/年	・丁寧な対応、説明(苦情:投書、直接)	0件	100%
	・禁煙外来	受診件数	3件/年	・禁煙成功のための積極的アプローチ	0件	0%
収入の確保	・コストの漏れ防止	漏れ件数	3件以下/年	・請求漏れ防止のため診察の確認の徹底(ニチイ連携)	0件	100%
	・診療材料の在庫管理	定数確認	適宜	・定数化の実施により在庫抑制・確認(外来全般)	適宜	達成
安全・安心な看護の提供	・ヒヤリ・ハット提出件数	件数	3件/1人/年	・毎月医療事故マニュアルチェックの実施	9件	43%
	・医療機器の定期点検実施率	実施回数	12回	・医療機器毎に点検日を決め実施	実施	100%
専門性の高い看護の提供	・看護手順・基準の見直し実施	実施部門数	適宣	・随時既存の手順・基準の見直し	実施	達成
効率的業務の推進	・他部門との情報交換	開催回数	適宜	・連携をスムーズに行うための話し合い実施	実施	達成
	・年次休暇の消化	消化日数	14日	・職員のリフレッシュ効果による業務の向上	16日	114%
職員の能力向上	・所内勉強会参加	開催月	開催月	・開催月に参加	参加	達成
	・インターンシップ受け入れ	依頼月	2人/年	・中学生、高校生	3人	150%

令和6年度 バランス・スコアカード【訪問看護ステーション】

視点	戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標・目標値		アクションプラン	実施値	達成率
			評価指標	本年度目標値			
顧客の視点	サービス(ケア)の標準化	職員への周知		3回	事業所独自のマニュアル等での周知	3回	100%
	関係機関との連携強化	新規利用者の拡大	新規利用者数	30人	月2人以上の新規利用者の契約	21人	70%
財務の視点	歳入の安定化	利用者の拡大	利用者延数	1,950人	居宅介護支援事業所、病院や診療所医師との連携	1,713人	87%
		医療介護報酬の確認		12回	レセプトダブルチェック(介護報酬医療報酬勉強会)	12回	100%
		訪問看護のアピール	広報紙掲載	2回	広報紙を活用し宣伝	2回	100%
業務の質の視点	安全・安心な看護の提供	医療安全研修会		1回	所内研修会参加	1回	100%
	適切な訪問看護の提供	医師との連携		4回	医師、看護師合同ミーティング	2回	50%
		課内事例検討会	開催数	12回	月1回事例検討会開催	12回	100%
業務効率の視点	多職種との協働・連携	居宅介護支援事業所との連携	ケース担当者会議への出席	随時	関係機関との連携を図り、利用者の情報を共有する	13回	
		医療機関との連携	退院時カンファレンスへの出席	随時	入院中の情報を得る	5回	
		近隣訪問看護ステーションとの連携	交流会参加	1回	他訪問看護ステーションの情報を得る	2回	100%
	情報共有による業務効率向上	ICTの活用		随時	スマホの活用により画像情報の共有	随時	
学習視点と成長の	職員の能力の向上	各種勉強会・研修会への参加	参加数	1人3回以上	個人毎の研修計画の作成	3回	100%
		知識や技術、最新情報の取得		3回以上	研修会参加後の情報伝達会	3回	100%

令和6年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【薬局部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	医療講演の実施	医療講演実施件数	5件以上	出前講座、糖尿病教室、薬物乱用防止教室等の実施	3件	60%
	個別ケア会議での助言	会議での医薬品情報の提供	6回	事業者に対する患者ごとの医薬品情報の提供及び指導	6回	100%
	丁寧な薬品情報提供	質疑応対件数	5件以上	養護教諭・内外医療スタッフからの質疑対応	5件以上	100%
財務の視点	後発医薬品の使用促進	後発医薬品の使用促進	15種以上	後発品採用品目数	15種以上	100%
	薬品の適正管理	月末の在庫確認	毎月実施	毎月末に理論在庫と実在庫の比較及び検証	毎月実施	100%
		廃棄薬品の減少	5万円/年以下	期限切迫品の情報提供 先入れ先出しの徹底	5万円/年以下	100%
業務の質の視点	医療安全対策の推進	重大な副作用の情報提供	DSU・・・毎月 その他・・・随時	対象部門へ回覧	実施	100%
	ワクチン接種の効率化	接種予定表による管理	15人分	接種者のワクチン接種スケジュールの管理	15人以上	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	10回以上	連携がスムーズに行えるように話し合う	10回以上	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得	研修会への参加	10回以上	町・薬剤師会・製薬会社等が実施する研修会に参加する	10回以上	100%
		知識の習得	2項目/月以上	インターネット、薬学雑誌等から習得する	2項目/月以上	100%

令和6年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【X線部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	インフォームドコンセントの推進	撮影に関するクレーム件数	0件	検査内容の説明	実施	100%
	接遇の向上	患者対応に関するクレーム件数	0件	入退室時のアナウンス	実施	100%
	収益の確保	放射線室の総撮影件数	3500件	各種撮影機器の件数の増加を目指す	実施	99%
財務の視点	収入の確保	医事係との情報交換	年2回以上	診療報酬算定等についてのミーティング	年5回程度	100%
	コスト削減	放射線機器の日常点検	毎日	6機器について月別シートにより毎日点検	実施	100%
		医療機器の保守点検	年1回以上	6機器について点検計画書を作成し実施	実施	100%
業務の質の視点	安全・安心な検査の実施	医療事故件数	適宜	患者の転倒、転落、受傷事故防止	0件	100%
			1件/月 以内	インシデント報告件数を月1件以内にする	1件以内	100%
		撮影時		CT造影剤問診表確認	実施	100%
		医師への画像情報の報告	適宜	癌・急性期疾患・特異所見等について随時報告	適宜実施	100%
		放射線被ばく相談	適宜	患者さんが放射線検査に不安があった際に対応	適宜実施	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	年2回以上	連携をスムーズに行うためのミーティング	適宜実施	100%
	院内カルテの効率化	カルテメーカーとの打ち合わせ	年1回以上	院内カルテ及び画像閲覧システムの修正	年5回程度	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得と能力向上	各種勉強会・研修会への参加	年6回以上	診療所内外勉強会・研修会への積極的参加	10回程度	100%
		出前講座・院外発表	年1回以上	出前講座・院外発表(放射線技師学術大会等)	3回	100%
	放射線安全管理委員会 職員研修	職員への放射線取扱研修	年1回以上	診療所内での職員研修の実施	1回実施	100%

令和6年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【検査部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実行結果(実施値)	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	地域啓発活動の推進	出前講座・教室の実施	1回以上	糖尿病教室等	1	100%
	患者満足度の向上	接遇・技術研修会等参加回数	1回以上	検査内容の事前説明を徹底	0	0%
財務の視点	材料費の抑制	材料リストの見直し	2回以上	同等製品との価格比較	1	50%
	試薬・診療材料の適正管理(在庫管理の徹底)	有効期間の確認	月2回以上	在庫管理の徹底	適宜実施	100%
	収入の確保	医事との連携強化	1回以上	診療報酬についての意見交換の実施	2	200%
業務の質の視点	臨床検査精度管理の充実と向上	精度に関する研修会参加回数	2回以上	研修会の参加	2	100%
	他施設とのデータ互換性の向上	外部精度管理調査の参加回数	3回以上	医師会等の精度管理調査の参加	6	200%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との連携強化	3回以上	関連部門との意見交換の実施	1	33%
長学 の視 と 点 成	技能・能力の向上	所外の研修会・学会の参加回数	6回以上	技術と知識の向上	8	133%

業務改善委員会

委員長 加藤 喜信

令和6年度は、開催されませんでした。

◇委員会構成

委員長	内科長	加藤 喜信		
委員	所長	阿部 俊和	副所長	古田 一
	歯科長	高橋 通訓	事務長	佐藤 康博
	事務長補佐	佐藤 美幸	主任臨床検査技師	亀井 浩
	放射線技師	佐々木 清光	薬剤師	小野寺 甲仁
	看護師長	小野寺 利佳	主任看護師	高橋 須磨
	訪問看護係長	千田 瑞穂	看護師	新岡 蘭
	歯科衛生士	石川 友恵	主事	高橋 圭太

薬事委員会

薬剤師 小野寺 甲仁

薬事委員会は、医薬品の購入及び管理が適正かつ有効に行なわれるように協議する場として設置され、通常年2回開催しています。

1. 会議内容

(1) 報告事項

令和5年度薬品購入実績について

令和5年度ワクチン接種状況について

訪問診療利用者向けお薬アンケートの結果について

令和6年度インフルエンザワクチン接種状況について

高齢者の各種ワクチン接種状況について

令和7年度使用期限終了医薬品について

(2) 協議事項

令和6年度同成分含有医薬品の採用について

令和5年度使用期限終了医薬品等の廃棄について

令和7年度見積依頼薬品について

2. 委員会構成

委員長	所長	阿部 俊和		
委員	副所長	古田 一裕	内科長	加藤 喜信
	歯科長	高橋 通訓	事務長	佐藤 康博
	事務長補佐	佐藤 美幸	薬剤師	小野寺 甲仁
	看護師長	小野寺 利佳	訪問看護係長	千田 瑞穂

医療安全・感染対策委員会

看護師長 小野寺 利佳

1. 業務内容

安心安全な医療提供のために医師（歯科含む）、看護師、薬剤師、歯科衛生士、医療係（事務）の多職種チームで協働しています。

2. 令和6年度インシデント・アクシデント提出数

① 提出件数 14件

② 部門別件数

内科0件、歯科4件、看護科9件、診療科（検査/放射線）1件

③ 針刺し事故はありませんでした。

3. 活動報告

①勉強会 5月、3月 2回/年

②OICON II 参加

医師1名、看護師1名、検査技師1名、薬剤師1名参加登録していることから定期的なWEB参加をしています。Zホールでの訓練に参加しました。

③所内巡回 毎週水曜日点検

4. 次年度にむけて

インシデント・アクシデント報告が年々減少してきています。入ってくる情報からはもう少し件数が多くてもよいように思われます。どんな些細なことでもよいので提出してもらい仕事向上に繋げていきたいと考えております。

◇委員会構成

委員長	看護師長	小野寺 利佳		
委員	所長	阿部 俊和	副所長	古田 一裕
	内科長	加藤 喜信	歯科長	高橋 通訓
	事務長補佐	佐藤 美幸	主任臨床検査技師	亀井 浩
	放射線技師	佐々木 清光	薬剤師	小野寺 甲仁
	主任看護師	高橋 須磨	訪問看護係長	千田 瑞穂
	看護師	木村 優季	歯科衛生士	石川 友恵
	主事	岩渕 月		

糖尿病教室

看護師長 小野寺 利佳

今年度の糖尿病教室は新たな試みとして糖尿病で診療所に通院している方、町の健診で糖代謝異常あり指導の対象となっている方にハガキで教室の開催を連絡し、夕方2回の開催としました。今までの糖尿病教室と変更したその理由としましては、今まで参加されていた方が高齢等で参加できる方が大幅に減ったことが一番に挙げられます。その一方で、境界型糖尿病など健診で指摘されても受診までに至らない方々にも糖尿病について知っていただく機会が必要との判断で行いました。周知方法については個別にハガキ連絡のほかチラシでも行い、糖尿病の方だけではなく興味のある全ての方が参加できるようにしました。

今後の教室の在り方については運営委員会の中で検討しながら、現状にあった最適な方法で実施していきたいと思えます。今後も厚生省の指針に基づきながら患者と医療側との密接な連携による療養指導の必要性を考え、地道ではありますが糖尿病の基本を知っていただく機会を提供できたらと思えます。

日 時		テーマ	担当
令和6年10月25日(金) 16時～17時	第1回	糖尿病総論	阿部所長
	〃	糖尿病の検査と数値の見方	亀井検査技師
令和6年12月13日(金) 16時～17時	第2回	糖尿病と歯周病	高橋歯科長
	〃	糖尿病のお食事について	伊丹栄養士



所内勉強会

薬剤師 小野寺 甲仁

主に診療所職員を対象として、知識の習得及びスキル向上を目的に勉強会を開催しています。講師は製薬会社の担当者に依頼し、最新の治療薬等の情報に関する説明を頂いています。

令和6年度は、合計4回開催しました。今後も医薬品情報や院内感染対策など、幅広い分野をテーマに実施を検討していきます。

令和6年度所内勉強会実績

回	開催日	テーマ	講師
第1回	令和6年5月13日	院内感染対策 ラスビック	杏林製薬株式会社
第2回	令和6年7月26日	エンレスト	ノバルティスファーマ株式会社
第3回	令和6年9月6日	イノラス	株式会社大塚製薬工場
第4回	令和7年3月7日	院内感染対策 リフヌア	杏林製薬株式会社

出前講座

医療係 岩淵 月

町民を対象として公衆衛生、医療、健康等の保健医療全般の知識や意識を高めることを目的に、職員が訪問し講演を行いました。診療所関係の講座メニューは6職種 25 演題で、令和6年度の実施状況は、対応回数2回、受講者数62名でした。

1. 令和6年度出前講座メニュー（診療所関係）

番号	講座名	担当	時間
1	糖尿病について	内科医師	30分
2	健康で長生きするために	内科医師	30～60分
3	インフルエンザについて	内科医師	30分
4	健康診断について	内科医師	30分
5	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）	内科医師	30分
6	慢性腎臓病について	泌尿器科医師	30分
7	前立腺肥大症、前立腺癌について	泌尿器科医師	30分
8	透析療法について	泌尿器科医師	30分
9	泌尿性生殖器癌について	泌尿器科医師	30分
10	尿失禁、過活動膀胱について	泌尿器科医師	30分
11	肛門疾患（排便時出血）について	外科医師	30分
12	診療所医師による健康講座	医師	30分
13	歯周病と全身疾患について	歯科医師	30分
14	正しい歯の磨き方	歯科医師	30分
15	歯周病と糖尿病	歯科医師	30分
16	マウスガード（スポーツ歯学）	歯科医師	30分
17	口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防	歯科医師	30分
18	お薬の飲み方・使い方	薬剤師	30分

19	X線写真でわかるさまざまな病気	診療放射線技師	30分
20	検査の結果をみてみよう!! (糖尿病)	臨床検査技師	30分
21	応急処置について	看護師	30~60分
22	尿失禁と骨盤底筋体操について	看護師	30分
23	インフルエンザの予防方法について	看護師	30分
24	訪問看護について	看護師	30分
25	血圧の正しい測定法を学びましょう	看護師	30分

2. 令和6年度出前講座実績（診療所関係）

	実施日	講座名	講師	受講団体	参加人数
1	8月7日	薬物乱用防止教室	小野寺薬剤師	金ケ崎町民生委員 児童委員協議会	40名
2	12月2日	金ケ崎診療所医師による講和 「脳卒中のトレンド」	阿部所長	金ケ崎町職員退職 者の会	22名
計					62名

CT読影会（画像カンファレンス）

診療放射線技師 佐々木 清光

（１）CT読影会の開催概要

月に隔週の木曜日（第2週、第4週）16時30分から読影会を行っております。

内容は、当院で撮影したCT画像について、遠隔画像診断（鈴木画像診断研究所）の読影結果も踏まえて、主治医が行った診療行為に対してCT画像の読影結果及び採血等の臨床検査結果を照らし合わせ、他の医師も交えての診療行為の検討を行っております。

メディア等でも取り上げられております画像読影の未確認ミスによる病態悪化及び死亡される例が散見されております。読影会の目的は、当院でもこのような事例が起きないようにする為に撮影した画像確認、さらに医師・技師の知識向上の為に、CT読影会を行っております。

今年度も他の職種の方々から賛同頂き、常勤医、臨床検査技師、薬剤師、放射線技師にて行っております。

今後の展望としては、さらに他の職種の方々にもご興味があれば、ご参加頂ければ幸いです。

（２）CT読影会の実績統計

（単位：件）

	開催日	読影件数		開催日	読影件数
第1回	令和6年4月4日	8	第11回	令和6年11月7日	23
第2回	令和6年5月16日	37	第12回	令和6年11月21日	10
第3回	令和6年5月23日	5	第13回	令和6年12月5日	19
第4回	令和6年6月20日	25	第14回	令和6年12月19日	16
第5回	令和6年7月4日	18	第15回	令和7年1月16日	21
第6回	令和6年7月18日	9	第16回	令和7年1月30日	19
第7回	令和6年8月22日	32	第17回	令和7年2月27日	29
第8回	令和6年9月5日	32	第18回	令和7年3月28日	21
第9回	令和6年9月26日	17			
第10回	令和6年10月17日	25			

学童、園児の健康診断

担当医師 古田 一裕

幼稚園の健康診断および医師会よりの依頼で町立第一小学校と町立西小学校の学校医を引き受け健診に従事しています。学校医に関しては町立第一小学校を阿部所長、町立西小学校を古田が担当しました。幼稚園の健診は阿部所長、加藤医師、古田との3人で担当しています。金ヶ崎診療所は小児、学童の健診維持に貢献し、子どもを持つ若い世代が安全で安心して子育てをし、生活ができる環境の維持に貢献しています。県立金ヶ崎高等学校が令和4年度より加わりました。

◇幼稚園

- 1) 三ヶ尻幼稚園、南方幼稚園 4才児：古田副所長
- 2) 六原幼稚園、南方幼稚園 3才児：加藤内科長
- 3) 南方幼稚園 5才児：阿部所長
- 4) ゆうゆう保育園 春、秋 古田副所長

◇小学校

- 1) 町立第一小学校 阿部所長
- 2) 町立西小学校 古田副所長

◇高校

県立金ヶ崎高等学校 加藤内科長

令和6年度の診療応援状況

◇阿部俊和所長

毎週火曜日の午後 総合水沢病院への診療応援

随時奥州市立夜間救急

◇古田一裕副所長

毎週火曜日の午前 県立千厩病院総合内科外来診療

随時奥州市立夜間救急

◇加藤喜信内科長

毎週水曜日の午後 県立千厩病院内視鏡検査、内視鏡手術

月1回県立胆沢病院消化器内科出張

随時まごころ病院当直

随時奥州市立夜間救急

業 績

【阿部俊和所長】

◇出前講座

令和6年 12月2日 金ヶ崎診療所医師による講和「脳卒中のトレンド」
(金ヶ崎町職員退職者の会)

【小野寺甲仁薬剤師】

◇出前講座

令和6年 8月7日 薬物乱用防止教室 (金ヶ崎町民生委員児童委員協議会)

【佐々木清光診療放射線技師】

◇発表

- 1) 令和6年 10月4日 第64回全国国保地域医療学会
(いわて県民情報交流センター「アイーナ」)
「胸部X線画像診断AI ソフトウェア導入後の当院の使用経験」
- 2) 令和6年 10月6日 第14回東北放射線医療技術学術大会 (秋田市にぎわい交流館AU)
「X線CT装置の被ばく線量を適正化する為の画質評価」

出張予防接種

所長 阿部 俊和

当診療所では産業医訪問先企業の健康管理目的、また金ヶ崎町にある企業に対するサービス目的で出張インフルエンザワクチン接種を行っています。令和6年度も出張ワクチン接種を継続しました。

原則、医師1名、看護師1名、事務2名で企業を訪問し、ワクチン等を持参、会計もその場で済ませる形式で集団接種を行いました。

企業への出張接種は三菱製紙（株）、ウチダシューズ（株）、関東商事（株）の3社でした。

今後も継続を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

◇出張ワクチン接種

三菱製紙（株）：2日間、84名

ウチダシューズ（株）：1日間、38名

関東商事（株）：1日間、17名

◇所内での集団接種

役場職員：164名

産業医活動

日本医師会認定産業医 阿部 俊和

金ケ崎町はトヨタ自動車東日本（株）をはじめ、その関連企業や製薬会社、物流倉庫など多くの工場、事業所を抱えております。

当診療所における産業医活動の目的は町の発展を願い金ケ崎地域の産業振興のお手伝いをしたいとの思いからの産業医派遣であります。

業務は例年通り日医認定産業医の資格を有する3人の医師体制で行い、金ケ崎町役場の産業医の他に三菱製紙（株）、共同物流サービス（株）、グリーンテック（株）の事業所において産業医活動を行いました。

役場における産業医活動は診療所での健康診断の一部を引き受ける事、更に衛生委員会に出席し、産業医としてコメントを加える事が主な業務でありました。しかしながら、外来診療の合間に会議出席をせざるを得ない状況であり、衛生委員会への出席率が悪く、次年度より出席する環境を整えていきたいと思っております。

三菱製紙（株）には原則月1回月曜日の午後に訪問しました。活動内容は職員検診後の要指導指対象者に対する面談、職場巡視、衛生委員会への出席、不調を訴える職員の診察、残業の多い職員との面談などが主なものでありました。衛生委員会では医療のトピックスの情報供与と新型コロナウイルスなどの感染症の情報提供も行いました。その他令和6年度もインフルエンザの予防接種を会社訪問にて行いました。

共同物流サービス（株）においても三菱製紙（株）と同様に月1回午後に職場巡視、検診後の要指導者に対する面談、衛生委員会への出席等、産業医として必要な活動を行いました。

グリーンテック（株）においては職場巡視する環境にはなく、衛生委員会出席が主な業務でありました。

今後も継続して行い、金ケ崎町の産業振興の一端を担いたいと思っております。

4. 研修・実習受入

臨床研修医受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

岩手県立胆沢病院臨床研修医(医師免許取得後2年目までの医師)の臨床研修を受け入れる教育施設として、臨床研修医1名を受け入れました。

臨床研修は、国の定めた到達目標に準拠して、指導医のもとでの診療行為を通して実施するもので、医療に携わる若い人材を育成するために行われます。

【G I O】(一般目標)

管理型臨床研修病院である県立胆沢病院における一般目標に準じ、綿密な連携体制のもとに地域医療に関し、特に次の点を重視し研修を実施する。

【S B O s】(行動目標)

- 1 専門分野にとらわれない総合的な診療を行う能力・技術の習得
- 2 患者及び家族とのコミュニケーションを重視した、精神的な面を含めて幅広い人間性の習得
- 3 地域住民と接する機会を通じての、社会性・公共性の認識の習得
- 4 プライマリ・ケア実践のための対応能力の習得

1 臨床研修医及び研修期間

(1) 千葉 優華 先生 令和6年9月9日～令和6年10月6日

地域医療研修を通して

岩手県立胆沢病院研修医 千葉優華

9月9日から10月6日まで研修をさせていただきました、岩手県立胆沢病院研修医の千葉優華です。4週間という限られた期間ではありましたが、地域診療所ならではの貴重な経験をさせていただくことができました。

研修では、主に一般外来、訪問診療、産業医業務などを経験させていただきました。様々な場面で、地域の皆様や行政とのつながりを感じました。地域医療を継続していく上では、行政や地域住民・企業等との密な連携が必要不可欠なのだ実感しました。また所内は、スタッフの皆様同士顔が見える関係で、その結果のチームワークがより良い医療につながっており、多職種連携の重要性を改めて感じました。外来診療では、先生方はもちろんのこと、コメディカルの方々がそれぞれの視点からご助言くださり、大変助けられました。

地域医療は、医師としては、自身の専門分野にとどまらない幅広い知識を求められ、限られた医療資源で診療を行う必要がある、といった大変さがあるかと思えます。また、病気の診断・治療だけでなく、その方が受けられる支援や補助などといった、医療以外の側面からも患者様を支える知識を持たなければならないという難しさもありました。しかし患者様の初診からその後の生活、そして最後まで、患者様自身やその家族と深く関わる地域医療は、とても魅力的であると思えました。金ヶ崎診療所での経験を、これからの医師人生に活かしていきたいと思えます。皆様、本当にありがとうございました。



地域医療実習受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

1 東北医科薬科大学医学部の地域総合診療実習・地域包括医療実習受入機関として、6年次1名の学生を実習生として受け入れました。

(1) 実習生氏名及び実習期間

①山形一晃 令和6年5月13日～令和6年5月17日

(2) 実習生感想

金ケ崎診療所実習での出会い

東北医科薬科大学医学部医学科6年 山形 一晃

人との出会いは、人生においてとても価値のあるものであると考えています。私は岩手県葛巻町出身であり、全く縁のなかった金ケ崎診療所にて実習をさせていただきました。外来や訪問診療だけでなく、学校医や産業医として地域に必要な不可欠な医療を体験することで、地域医療の役割は医学的な治療だけではないということを学ばせていただきました。また、金ケ崎に住む方々との出会いを通して、この土地の人々の温かさを感じるとともに、さまざまな経験や背景を感じ取りながら人間力を伸ばすことができました。この実習において、学ばせていただく立場でありながらも、他の人に何らかの影響を与えることができていましたら幸いです。阿部所長をはじめとするさまざまな方々に本当にお世話になりました。ありがとうございました。来年からは岩手県で医師をしたいと考えておりますので、これからもよろしく願いいたします。



2 岩手医科大学医学部の地域医療臨床実習受入機関として、5年次2名の学生を実習生として受け入れました。

(1) 実習生氏名及び実習期間

①赤穂大空 令和6年10月7日～令和6年10月11日

②山口 怜 令和6年11月18日～令和6年11月22日

(2) 実習生感想

地域医療実習 金ヶ崎診療所研修後の感想・所感について

岩手医科大学医学部5年 山口 怜

診療所の業務を目にしたのは初めてであり、印象に残る点多かった。診療所では時間あたりに診察する人数が多いため少ない時間で見逃しなく、かつ患者さんに不快感を与えないようにする能力の必要性を感じた。診療所では生活習慣病関連、ワクチン接種や既往症のフォローで来院する方が圧倒的に多く、基幹病院とは大きく来院目的が異なることを実感することができた。

本実習では外来などの病院内での様子だけでなく訪問診療や訪問看護といった地域に根差した医療を目の当たりにすることができた。金ヶ崎診療所は普段実習をしている医大病院とは役割が正反対であり、業務に関しても全く異なるものであった。地域医療の一端を担う診療所で実習できたことに幸運を感じつつ以降の学修に臨みたい。



3 岩手医科大学医学部の総合診療実習受入機関として、5年次1名の学生を実習生として受け入れました。

(1) 実習生氏名及び実習期間

①清水千晴 令和7年1月27日～令和7年2月6日

(2) 実習生感想

金ケ崎診療所での2週間の実習を終えて

岩手医科大学医学部5年 清水 千晴

日々の診療所での様子や訪問診療、訪問看護を通して高齢者の多い地域で患者さんもその周りの人も住み慣れた町で最後まで生活できるようにするために多職種で連携することの大切さを感じました。連携する上で自分自身もきちんと行政の仕組みを理解し、患者さんに適切な医療資源を活用できるようにしなくてはならないと学びました。実際に患者さんのお宅に伺うことでしかわからない生活環境を間近で見学することができ、特に雪の時期は買い物や除雪等も含めて高齢者には過酷な環境であると身をもって実感すると共に、訪問診療や訪問看護の重要性を改めて考えることに繋がりました。診療所の方をはじめ金ケ崎町の皆様には温かく受け入れていただき、時には患者さんから「頑張れよ」というお言葉をいただきとても嬉しかったです。金ケ崎での2週間で経験したことを活かして患者さんを総合的に診られる医師となれるよう努力し続けたいと思います。



4 ハンガリー国立ペーチ大学6年次1名の学生を家庭医研修実習生として受け入れました。

(1) 実習生氏名及び実習期間

①村井今日亮 令和7年1月27日～令和7年2月7日

(2) 実習生感想

実習の感想

ペーチ大学6年 村井 今日亮

ハンガリー国立ペーチ大学6年の村井今日亮です。今回は大学カリキュラムの一環として、家庭医療を学ぶために金ケ崎診療所で2週間の実習をさせていただきました。

地域に根ざした診療所の役割を実際に体験し、大学病院とは異なる視点で医療を学ぶことができました。訪問診療や慢性疾患の管理、発熱など日常的な健康問題への対応を通じて、家庭医の重要性を実感しました。また、医療セミナーや他の病院との連携を通じて、地域医療の広がりも学ぶことができました。

日本語での診療経験を積む貴重な機会となり、多くの学びがありました。金ケ崎の美味しい食事を含め、温かく迎えてくださった先生方やスタッフの皆様に深く感謝申し上げます。

